「MICRO-PEAK/2000」Windows 版対応 負荷計算入出力支援プログラム

2002/01 Ver.1.1





MICRO-PEAK/2000 入出力支援操作ガイド

目 次

第1章.プログラム全体概要	 1
1 全体概要 *******	 1

	• 王仲佩女	1
2	. 各種ファイルについて	 2

第2章.起動・保存の動作説明 ・・・・・・・・・・・・	 3
1 . 起動メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 3
2.物件データの読み込み ・・・・・・・・・・・	 5
3.データ保存 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 7
4.入出力メニュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 8

第3章.A 1 .データ入力 1標準入力(入力支援) ************************************	9)
1.JOB 名称・気象データ入力	· · · · · · g)
2.建築材料・ガラスの表示 ************************************	10)
2-1. 建築材料 ************************************	10)
2-2. ガラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10)
3.共通条件 ************************************	••••• 11	l
3-1. 方位 ***********************************		L
3-2. 庇 ***********************************	12	2
3-3. 外壁・内壁等	12	2
3-4. 隣室温度 ************************************	13	3
3- 5. 階高・天井高	13	3
4.スケジュール・運転条件	14	ŧ
4-1. 日スケジュール	14	1
4-2. 年スケジュール 	15	5
4-3 運転冬件 ····································	 15	5
5 安内設計冬件 ************************************	···· 16	3
		, 1
$6 0 7 \mathcal{A} - 7 \tilde{z} - 2 \lambda + 1 $	17 • • • • • • 17	7
	۱ <i>۲</i> ۱۹	2
0-1. 至有你"至用还 0. 0. 加辟 穷	10))
6-2. 外壁・窓	18	5
6-3. 闪壁	18	5
6-4. 隙間風	19)
6-5. 照明、人員、機器テータ	19)
6-6. 豕具・異形材テータ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19	J

7.MPK/2000 ファイル変換・表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
7-1. MPK/2000 ファイルに変換	20
7- 2. MPK/2000 ファイル表示	20
8.印刷 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21

第4章 . A 2 . データ入力 2_既存 MPK データ入力 (入力支援) ************************************	22
1.JOB 名称・気象テーダ入力	22
2.方位指標 ************************************	22
3.日スケジュール指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
4.年スケジュール指標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	23
5.外壁指標 ************************************	23
6.内壁指標 ************************************	24
7.運転指標 ************************************	24
8.スペース入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
8-0. スペースデータ入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
8-1.スペース名称、運転条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	26
8.2 外産データ ····································	26
	20
8-3. 内型ナータ	20
8-4. 窓データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
8-5. 隙間風データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
8-6. 照明、人員、機器データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
8-7. 家具・異形材データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
9.MPK/2000 ファイル変換・表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
9-1. MPK/2000 ファイルに変換	28
9- 2. MPK/2000 ファイル表示	29
10 .印刷 ***********************************	29

第5章.MICRO-PEAK/2000	算 •••••••••••••••	30

第6章.B1.計算結果の集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
1.データ入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
1- 1. MICRO-PEAK データセット(データを読み込む) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
1-2. 建築情報入力 ************************************	32
2.室名称・計算条件入力	33
3.系統集計データ入力 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
4 . 熱源集計デーの入力 ************************************	34
5 . 負荷集計計算 ***********************************	34
6 . 室負荷値表示 ************************************	35

7.	系統集計負荷値表示	• •	•	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	•	• •	•	• •	•	• •	•	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	٠	••	٠	• •	٠	• •	• •	37
8	系統内訳一覧表示	• •	•	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	•	• •	•	• •	•	• •	•	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	••	•	• •	٠	• •	٠	• •	• •	38
9.	熱源集計負荷値表示	• •	•	• •	• •	•	••	•	• •	• •	•	• •	•	••	•	• •	•	• •	•	• •	•	•	•	• •	•	• •	٠	••	٠	• •	٠	••	• •	39
10	熱源内訳一覧表示 🕚	• •	•	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	• •	•	• •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	•	••	•	• •	٠	• •	٠	••	• •	40
11	印刷出力	• •	•	• •	• •	•	• •	•	• •	• •	• •	• •	•	• •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	• •	•	• •	• •	•	••	•	• •	٠	• •	٠	••	• •	41

第7章	マスターデータメンテナンス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 42
1	外壁・内壁データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 42
2	隣室温度差 ************************************	• 43
3	日スケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 43
4	年スケジュール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 44
5	運転条件 ************************************	• 44
6	室内条件 ************************************	• 45
7	工事種類・建築構造名称 ************************************	• 45
8	建築材料 ************************************	• 46
9	ガラス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 46
10	印刷 ************************************	• 47

第8章.	システムユーティリィテイー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
1.	. ドライブ環境設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
2.	. 印刷環境設定 ************************************	48

第1章 プログラム全体概要

1.全体概要



建築設備技術者協会から発売の Windows 版 MICRO-PEAK/2000 プログラムに対応したプログラムです。

MICRO-PEAK/2000用データを効率的に作成し、直ちに負荷計算を行うことができます。

MICRO-PEAK/2000 はスペースデータの計算しか行えないこと、外気負荷に全熱交換器の効率を含ま ないことなどから、セントラル空調の為の系統集計や熱源機器選定用の負荷集計は、あらためて別プログ ラムで行うことが必要でしたが、本プログラムでは、MICRO-PEAK/2000 で計算した計算結果データを 読み込み、下記の計算を行います。

1) 全熱交換器効率を考慮した負荷計算

- 2) 室負荷計算値とグラフ表示
- 3) 空調機系統の集計計算とグラフ表示
- 4) 熱源系統の集計計算とグラフ表示
- 5)計算値のファイルの出力
- 6)機器選定用ファイルの出力
- ・本プログラムには、建築設備技術者協会より発売されている、MICRO-PEAK/2000が必要です。
- ・負荷計算のルーチンには、MICRO-PEAK/2000を使用します。
- ・本プログラムで作成したデータは引き続き、省エネルギー・シミュレーションソフト(空調)で年間 負荷のデータとして利用できます。

2-0. プログラムインストール (¥Tdc_w¥Mpk_Fk2) 指定したドライブに以下のフォルダーが作成されます。 X:¥Tdc_w¥Mpk_Fk2 | - ¥Project | - ¥Masdt | - ¥Work 2-1. プログラム (¥Tdc_w¥Mpk_Fk2)

Mpk_Fk2 .exe Fileset .dat St6unst .log

MICRO-PEAK 入出力支援プログラムファイル ランダムファイル管理ファイル アンインストール用ログファイル

2-2. 物件データ

******* .tdf

- (¥Tdc_w¥Mpk_Fk2¥Project) 当ソフトによる入力データ保存ファイル
- 2-3. マスターデータ
 - (\U03e4Tdc_w\U03e4Mpk_Fk2\U03e4Masdt) M mpk 1.dt 外壁・内壁データ M_mpk_2.dt 非空調室温度データ $M_mk_3.dt$ 日スケジュールデータ M_mpk_4.dt 年スケジュールデータ M_mpk_5.dt 運転条件データ M_mpk_6.dt 室内設計条件データ Ngm C1 .dt 工事種類・建築構造データ Wd ** .dt (01 25) 地域気象データ
- 2-4. 作業ファイル

Ctrl

(¥Tdc_w¥Mpk_Fk2¥Work) .dt 作業中の各種変数 Ctrl_Kpr .dt 作業中の各種変数 Ctrl_Mnu .dt 作業中の各種変数

Drvset .dt	ドライブ環境設定
Prtset .dt	印刷環境定
Grp_Ctrl .dt	グラフ表示作業用
Kaisha .dt	表紙出力設定
Kpr_* .dt	印刷項目の設定
Mpk_Pg .dt	MPK-2000 プログラムフォルダー-
Mpk_Data.dt	MPK-2000 ファイルフォルダー
Ptp* .dt	メニュー選択ファイル
Start .dt	物件データファイルのフォルダー

第2章 起動・保存の動作説明

1. 起動メニュー

スタートメニューから『プロヴラム』、『TDC 技術計算プロヴラム』、『マイクロピーク入出力支援』を選択していく ことにより起動させることができます。

本プログラムには、建築設備技術者協会より 発売されている、MICRO-PEAK/2000 が必要 です。

まず最初に MICRO-PEAK/2000 プログラム のフォルダの設定を行ってください。

フォルダーの設定を行っていない場合は確認のメッセージ(図 2-1)が出ます。

確認		×
マイクロヒ℃ー	りプログラムフォルダーの設定を	行ってください
	OK	
		2

図 2 - 1

《MICRO-PEAK/2000 プログラムフォルダの設定》

[0. MICRO-PEAK/2000 フォルダの設 定](図 2-2)で"ドライブ /フォルタ 検索"から MICRO-PEAK/2000 プログラムのフォル ダの設定を行います。Hasp2.exe、 Menu.exe、Mp000.exe があるフォルダを 設定してください。

 0. MICRO-PEAK/20007# 	は一の設定	
II I '9(7' / 2845'- 189 Program Files Micropesk 270955 POATA	ACFILEPOF HASP2 EXE MENUEXE MPCOD.EXE	II2 4944 ¹⁻ 92+441 コレルで <u>1</u>) 24942 ¹⁻ 9219 ¹ 543 + 444 Happ 2 acco Mp100 Acco が成 シスルル ² →2112 ¹ 20 (
「7#兆が一名称 DisProgram O K 【 fields】	n Filas¥Micropeak¥709	76.

図 2 - 2





《入力操作》

・「データ入力」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	データ入力を行うとき	
・「マスターデータメンテナンス」・・・・・・	マスターデータ入力を行うとき	
・「システムユーティリィティー」・・・・・・	使用ドライブの変更または確認、	印刷環境の変更また
	は確認の場合	
・「終了」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	MICRO-PEAK 入出力支援プログラ	ラムを終了する場合

『前回の物件データを開く』はデータ入力が既に行われている場合に表示されます。

開くをクリックすると途中の画面をショートカットして [入出力メニュー](図 2-7) に行くことができます。

《異常終了時の対処方法》

エラー等でプログラムが異常終了した場合は『前回の物件データを開く』をクリックします。入力 画面で『OK』ボタンで終了していれば入力値は保存されています。 2.物件データの読み込み

[起動メニュー]で『データ入出力』を選択すると[物件データの読込み](図2-4)が表示されます。 [物件データの読み込み]は

『新規作成』 『更新』 『MICRO-PEAK/2000データを読む』 『MICRO-PEAK/1987データを読む』 からなっています。

新想に入力	BK(1016)	MICRO	PEAK/2000_Windows297-9	\$4900 B
		MORO	-PEAK/1997_Dooll&t*-0	
47:2 フオルター 狭 : 	<u> 第 1</u>		① 物件データの読み込みに	I THE
2¥ Tdc_w IMPK: Fk2 V ddo Bot	Not sample to Mok, sample 26 Mok2K, 0226 d Mak2K, 0302 d Mok2K, 0302 d Mok2K, 0302 d Mok2K, 0302 t Mok2K, 0302 t Mok2K, 0302 th Mok2K, 0302 th	**************************************	、対応で後、データの位 保存にます。 (常く)(豊新) 以前に名前を付けて保) 入力ができ、土着を注め 保存にます。記録それに (数年の6月の)-764、200 すでに入力が終了して) 1時(15%、200 時に付けて保存します。	マータの保存時にも ポーシックルを開設 キスはえ気を付けて はです。 500000-FEAX/2000 一次の対応とやはかまま データの保存時でも。
新田田 [Datas	WYMER BORDHOL			
LIGH Abk, son	ipiel hif			

図 2 - 4

IN現入力 説存のMICRO-PEAKデータ支援み込み

1)新規にデータを入力の場合『新規に入力』を選択します。 ・新規作成された場合標準入力モードとなり効率的な入力方法が利用できます。

2)	更新す	る場合は	『開く	(更新)』	を選択し
	ます。				

以前保存したファイルを開きます。

『開く(更新)』をクリック

ドライブリスト でドライブを選択

フォルダリスト でフォルダを選択

ファイルリスト でファイルを選択

\$540.557	an entre	MDRO-PEGKO2010JWwiLw895*-V
		What ITAC BREES T
11 - 17 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7 / 7	Note cample 1 Work, cample 2: Mode, sample 2: Mpl 2: K, C225 or Mpl 2: K, C325 or Mpl 2: K, C320 or	
74Lダー名称 D.VTd	s_wYMPK_Fi@Yproject	
Direction and the second secon	emple1.tof	

図 2 - 5

『開く』が表示されますので、これをクリックします。

正しいファイルでない場合は確認メッセージが出力されますので、再度ファイルの選択をしてくだ さい。

■ 物件于一知道运动

データの読み込みを中止する場合は『キャンセル』をクリックします。

3) 既存 MICRO-PEAK データを読み込む場合は

『MICRO-PEAK/2000 データを読む』または『MICRO-PEAK/1987 データを読む』を選択します。

以前に作成保存したMICRO-PEAK 入力ファイルを開きます。

『MICRO-PEAK データを読む』をクリック

ドライブリスト でドライブを選択

フォルダリスト でフォルダを選択

ファイルリスト でファイルを選択

『開く』が表示されますので、これをクリックします。

正しいファイルでない場合は確認メッセージが出力されますので、再度ファイルの選択をしてくだ さい。データの読み込みを中止する場合は『キャンセル』をクリックします。

既存データをもとに新規作成された場合は標準フォームモード入力となり、エディタ的な入力方法となります。

《MICRO-PEAK/1987 データの MICRO-PEAK/2000 データへの変換内容について》 {1}数値変換

固定小数点を浮動小数点 kcal/hをW kcal/m3°CをkJ/m3K

BUIL 計算精度 BUIL ブラインド基準日射量 BUIL 地物反射率 OPCO 冷房条件DB OPCO 暖房条件DB OPCO 中間期条件DB EXPS 傾斜角 EXPS 方位角 SPAC 床面積 SPAC 天井高 SPAC 外気量 m3/h 人 LIGH 照明(W/m2) LIGH 照明(kW) HUMA ($\lambda/m2$) EQUISH (W) EQUILH (W) INFI 隙間長さ or 空白 INFI サッシ定数 or 換気回数 FUCO 熱容量 FUCO 面積 **OSWL**面積

OSWL 吸収率 OSWL 放射率 ISWL 面積 GSWD 面積 GSWD 放射率

{2}入力制限に対するメッセージ

- MATR 材料データ読み込みができません。MICRO-PEAK/2000 プログラムで直接内容を変更します。
- GLAS ガラスデータは読み込みができません。MICRO-PEAK/2000 プログラムで直接内容を変更します。
- OSWL 外壁データは5個以内の読み込みしかできません
- ISWL 内壁データは5個以内の読み込みしかできません
- GSWD ガラスデータは4個以内の読み込みしかできません
- FUCO 家具容量データは1行のみの読み込みしかできません

MICRO-PEAK/2000のデータファァイルはMICRO-PEAK/1987で使用できません。

3.データ保存

[入出力メニュー](図2-7)で『終了(戻る)』をクリックすると、[データの保存](図2-6)が表示されます。

1) 名前を付けて保存

現在入力中のデータに名前を付けて保存 します。

『名前を付けて保存』をクリック

ドライブリスト でドライブを選択

フォルダリスト でフォルダを選択

ファイルリスト でファイルを参照

「ファイル名称」でフルパスで名称を入 力します。

'3-(2', / 74,⊌\$'- ₩ 0d: 10:¥ 11dc_w 11dc_w 11dc_w 14pk,Fk2	素]] Mpk,0210.tdf Mpk,0226.tdf Mpk,Fi2.dt Mpk,Serube.tdf Mpk2K,0226.dat	 Ⅱデータの保存に20171 「名前を向けて保存 現在入力中のケータに名前を向けて 保存します。就保予14×14となります。 ノバクで名称を入力します。 く上書を保存 構成にます。
	Mpk2K_X1.dto	_ 1

図 2 - 6

『保存』 をクリック

新規作成時のデフォルト名称は、入力の日付が3月15日であれば"¥Mpk_0315.tdf"となります。

2) 上書き保存

『上書き保存』をクリックすると、開いたファイルをそのままの名称で同じフォルダに保存します。

4.入出力メニュー

[物件データの読み込み]で『新規作成』を 選択、または『開く(更新)』で更新したいフ ァイルを選択して『開く』ボタンをクリック すると[入出力メニュー](図 2-7)が表示さ れます。

入出力メニュー		
084MH: 48013-		
(入出力項目名件		
和至今入力过程重大力		
ALE-33.722.社会科学校生活3.71		
AT MERO-PEAC/20001015-1-5-14		
11 計算結果の集計		
H S		
・計構作の成された場合指年入力に十となら 出帯や一切とし、満発作のなどれた増加は 豊富な一切とし、満発作のなどれた増加は 豊富なーのたード、力になり15ページな人力 あたとなります。 (4) 計画にないので使きた単純化である。 市ののでかったの、このので使きた単純化である。 市ののでかったの、こののできた。 市ののであったりまでの、他である。 本部のである。これである。 本部のである。これである。 本部のである。これである。 本部のである。これである。 本部のである。これである。 本部のである。これである。 本部のである。これである。 本部のである。 本のでのである。 本のでのである。 本のでのである。 本のでのである。 本のでのである。 本のでのである。 本のでのでのである。 本のでのでのである。 本のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	会的身子一点入力的修了让太正之后而以来中。	
後間滅軍期に利用できます。	※須賀の計算は、合の表示があることを確認して計算を行ってください。	

2 - 7

[A1,2. データ入力について]入力支援

- ・新規作成された場合標準入力モードとなり効率的な入力方法が利用できます。
- ・既存データをもとに新規作成された場合は標準フォームモード入力となりエディタ的な入力方法と なります。

[A3.計算について]

- ・MICRO-PEAK/2000(建築設備技術者協会発売)のプログラムで計算を行います。
- [B1. 結果の集計について]出力支援
 - ・MICRO-PEAK/2000の計算結果ファイルを利用してスペースデータを系統集計します。
 - ・集計データはグラフ表示・外部ファイル出力等を行います。 出力ファイルは機器選定等に利用できます。

印は入力終了確認のマークです。 があるのを確認して計算結果の画面表示と印刷出力を行ってく ださい。

第3章 A1.データ入力1_標準入力

[入出力メニュー]の"<入出力項目名称"で 『A1.データ入力 1_標準入力』を選択すると [<A1.データ入力 1_標準入力](図 3-1)が表 示されます。

新規作成された場合標準入力モードとなり効率 的な入力方法が利用できます。



図 3 - 1

JOB 名称・気象データ入力 [入出力メニュー]の"<A1.データ入力 1__ 標準入力"で『1.1 ジョブ名称・地域その他』 を選択すると[1.1 JOB 名称・気象データ入力](図3-2)が表示されます。

BUILの入力を行います。

新規作成時のデフォルト設定は

計算精度	0.1%	
地域	16	東京
気象データTAC 設定	TAC1	.0%
ブラインド開閉日射量	233W	//m2
地物反射率	0.1	

となります。

隙間風の入力方法は軒高の入力によって決まります。

・クラック法の場合は挿稿>0を入力

・換気回数法の場合は評高=0を入力

¢0	08名称・気象テーラ人71	2	1/5		
No	入力項目	入力1	2,00		
1	J08名称	JOB名称(全角40桁) ABCと%			
02	計算稽度・地域	計算精査(%)	地域選択		
		0.1	<16>東京		
13	気象2~9TAC 選択	冷震	暖房		
		<2>TACION	<2>TAG10N		
14	75位/1期期日射量	日射量0W/m21			
		293			
15	軒高·地物反射率	「軒高のラック注)	地物反射率		
		45	0.1		

図 3 - 2

2.建築材料・ガラスの表示

[入出力メニュー]の"<A1.データ入力1_ 標準入力"で『1.2 建築材料・ガラス』を選択 すると[<<1.2 建築材料・ガラス](図3-3) が表示されます。

MICRO-PEAK/ 2000 の材料データファイ ルMDATA0.Dat の内容を表示します。

MICRO-PEAK/2000 プログラムのフォルダ の設定が終了していなければこの画面に入る ことができません。



🛛 3 - 3

2.1 建築材料

[入出力メニュー]の "<<1.2 建築材料・ ガラス"で『(1)建築材料』を選択すると [2.1 材料データ](図 3-4)が表示されま す。

材料名称、熱伝導率、熱容量の表示を行います。

データの変更はマスターデータメンテナンスの "8. 建築材料"で行います。

ंद	1991 F' ~ 1 >		1/100
No	材料名称	熱伝統率(W/mk)	<u> </u>
Л	[1] 空気(静止)	0.02209	1.29767
2	[2] 永 (爵止)	0.60000	4172.87400
10	E83 *	2.20000	1879.58500
04	[4] 중	0.06047	190.00000
16	ចេរក	45,00000	8620.98000
30	007145204	218.00000	2373.48800
2	[7] 綱	396.04650	3449.30200
8	[8]	0.00000	0.00000
9	[9]	0.00000	0.00000
I D	[10]	0.00000	0.00000

図 3 - 4

2.2 ガラス

[入出力メニュー]の" <<1.2 建築材料・ ガラス"で『(1)ガラス』を選択すると [2.1 材料データ](図 3-4)が表示されま す。

ガラス名称、SCR、SCC、熱貫流抵抗の 表示を行います。

データの変更はマスターデータメンテナ ンスの "9. ガラス " で行います。



🛛 3 - 5

3. 共通条件

[入出力メニュー]の "<A1.データ入力 1_ 標準入力"で『1.3 共通条件』を選択すると [<<1.3 共通条件](図 3-6)が表示されま す。

- (1)方位
- (2)庇
- (3)外壁・内壁等
- (4) 隣室温度
- (5) 階高・天井高
- の入力を行います。



図 3 - 6

3.1 方位

[入出力メニュー]の"<<1.3 共通条件" で『(1)方位』を選択すると[1.3.1 方位] (図3-7)が表示されます。



図 3 - 7

EXPS の入力を行います。 標準18 方位以外の場合に入力します 標準方位は以下の方位です。 SSW SW WSW W WNW NW NNW N NNE NE ENE E ESE SE SSE H P

標準入力では指標名称の入力は不要です。 プログラムで名称の管理を行います。

3.2 庇

[入出力メニュー]の " <<1.3 共通条件" で『(2) 庇』を選択すると[1.3.2 庇条件] (図3-8)が表示されます。

No	ESR	な神社の小生	1200	24	10次	10000 H	इ र्मेस	4.4	20	10 65	E Det	1
1	A1	0.0	115.0	370.0	115.0	0.0	15.0	11.0	19.0	7.0	15.0	
2	42	0.0	115.0	370.0	115.0	0.0	15.0	11.0	19.0	7.0	15.0	
9		0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00	
4		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0,0	0.0	0.0	0.0	0.0	
5.		0.0	0.0	0.0	00	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	00	
.,13	87	war 1	-		×1	- Ho	뇌	10.	り続けるナ り最大値に Jacし下の	1億よって 1898です。 場合は10	調整されま	* *

EXPS の入力を行います。

図 3 - 8

入力の単位はmが基本ですが、ファイル出力値は入力値よって調整されます。 入力最大値は999です。 99.9m以下の場合は10cm単位で出力それ以上の場合はm単位で出力します。

標準入力では指標名称の入力は不要です。プログラムで名称の管理を行います。

3.3 外壁·内壁等

[入出力メニュー]の"<1.3 共通条件" で『(3)外壁・内壁』を選択すると[1.3.3 外壁・内壁部材データ](図 3-9)が表示さ れます。

5	时间区分离积:	入力部材端初	BRASER	per l
Ľ	99 <u>*</u>	p1:WAL	T INN	
3	- 歴いた間合計オデータ >			1712
No	材料香菜	#a)	(64) (64)	
1	1011 7522-	3.0	[14] 土壤(殻質)	
2	127] モルウル	20.0	[15] 主爆(百二ム質)	1
ŝ	[22] 普通コンクリート	120.0	日门砂利	100
4	[27] モルタル	25.0	(19)	10
8	[36] 与イル	8.0	20] 21] PCコンクリート	
6		0.0	[22] 普通コンクリート	
ß		0.0	24 ALD(気泡1/0)-1	
6		0.0	したう エンクリートフロック 経営	8 –
8		0.0	[27] モルタル [28] 石綿スレート	
0		0.0	[29] ブレキシブルボー	E T
1	1	0.0	SD 552.9-	-
2	1	0.0		

OTWM、INWM の入力を行います。

図 3 - 9

- ・外壁の場合は室内の仕上げ材から外装仕上げ材の順に入力
- ・内壁の場合は室内の仕上げ材から隣室の順に入力
- ・床の場合は床の仕上げ材から下階の天井材の順に入力
- ・天井の場合は天井の仕上げ材から上階床材の順に入力
- ・外界の影響を受けにくい地中壁や土間床の場合はスペースデータの家具・異形材の項目で入力
- ・空気層91、92の場合は材料番号のみの入力
- ・仕上げ材料途中に空白部分が有ってもOK です

標準入力では指標名称の入力は不要です。プログラムで名称の管理を行います。

3.4 隣室温度

[入出力メニュー]の"<1.3 共通条件" で『(4)隣室温度』を選択すると[1.3.4 隣室温度](図3-10)が表示されます。

温度計算式

隣室温が自室温と等温の場合:	a=0
隣室温が外気温と自室温との	
中間の場合:	0 <a<100< td=""></a<100<>
隣室温が外気温と自室温との	
中央値の場合:	a=50
隣室温が外気温度と等しい場合	≩: a=100
隣室温がt で一定の場合:	a = 200 + t
とします。	

		in the second		-
No	室用途名称	1系数 面	躍室温度	
n	空調室	D	白室と寺道	
12	ØF	23	a < 外気温度+800-al+自室温↓/100	-
03		0	自営と等温	
24		D	自室と等温	000
15		D	自室と等温	
80		D	自室と装置	
07		0	自室と等温	
99		D	自憲と等温	
19		D	自室と等温	1
10		0	自営と等温	- 2
A)	0 K 4+0/81	(1) 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	盖と等重の場合:+=0 基と音重語との中間の場合:0 4a4111 基と目重語との中見値の場合:+=50 基面と簡しい場合:+=111 ===〒の最全 +==111	

図 3 - 10

3.5 階高·天井高

[入出力メニュー]の" <<1.3 共通条件" で『(5)階高・天井高』を選択すると [1.3.5 階高・天井高入力](図 3-11)が表 示されます。

12	5 起南 天井省	ivu			
< 8	語·天井高入 ³) > U地下NI的は	-NECITI	1/20	1 * 1
No	Fronte	Tole	(m)活(m)	標準天井高/m)	
п	1	5	4.0	2.6	
R	0	0	0.0	0.0	
13	0	0	0.0	0.0	
14	0	D	0.0	0.0	
35	0	0	0.0	0.0	
16	0	0	0.0	0.0	
57	D	D	0.0	0.0	
8	D	D	0.0	0.0	
99	D	D	0.0	0.0	
0	0	D	0.0	0.0	
1	E#A T		スペース入力 一行に1フロ7 [From端] と「	 面でも直接入力が 「分表登録する際 To館」」こ同じ数4	
	0K 4	rita	(IN) 1 88 20187 No. Frond	51.5m、天井高2. To耐 解高(1 8.1	7m、2階の相高1.1m、天井高2.1mの場合 m) 標準天井高(m) 1.7
			(2) 2	2 8.1	2.6

・スペース入力画面でも直接入力ができま す。

・一行に1フロア分を登録する際は、
 「From 階」と「To 階」に同じ数字を入力してください。

図 3 - 11

(例)1階の階高3.5m、天井高2.7m、2階の階高3.1m、天井高2.6mの場合

No.	From階	To 階	階高(m)	標準天井高(m)
(1)	1	1	3.5	2.7
(2)	2	2	3.1	2.6

4.スケジュール・運転条件

[入出力メニュー]の"<A1.データ入力 1_ 標準入力"で『1.4 スケジュール・運転条件』 を選択すると[<<1.4 スケジュール・運転条件](図3-12)が表示されます。

- (1)日スケジュール(2)年スケジュール(3)運転条件
- を入力します。



図 3 - 12

4.1 日スケジュール

[入出力メニュー]の "<<1.4 スケジュー ル・運転条件"で『(1)日スケジュール』 を選択すると[1.4.1 日スケジュール](図 3-13)が表示されます。

Slo.	775-1	***	MEL	噌	May	***	MOU	「	May	1991	mar	1000	清费16	Giffenc	中数4
٩.	80.891	9	12	†3	11	20	1	0	0	0	0	0	110	60	90
	na S	100	50	108	38	0	1	P	a .	0	0				
- 90	人員1	2	12	11	μ.	20	1	Þ	þ	0	0	Þ	110 10	10	00
	2	100	50	101	11	0	1	p .	p	0	0		1		
0	ZER 9	9	12	13	21	0		0	0	0	0	0	110	10	80
		00	D	00	b	0	1	D	þ	0	a		1		

SCHE の入力を行います。

・人員、照明、機器のスケジュールを入力 します。

X 3 - 13

9:00-11:00	100%
12:00	50%
13:00-17:00	100%
の場合の入力	りは

時刻1/比率1	時刻2/比率2	時刻3/比率3	時刻4/比率3
9	12	13	17
100	50	100	

標準入力では指標名称の入力は不要です。プログラムで名称の管理を行います。

4.2 年スケジュール

[入出力メニュー]の" <<1.4 スケジュー ル・運転条件"で『(2)年スケジュール』 を選択すると[1.4.2 年スケジュール](図 3-14) が表示されます。

YSCHの入力を行います。 月によって、日スケジュールが異なる場合 は日スケジュールを使って年スケジュール を作成します。

日スケジュールの設定 月 日スケジュールの設定 別/ 1 (95)22 ・ カ// 7 (03)2ER ・ カ// 2 (95)22 ・ カ// 8 (03)2ER ・ カ// 3 (05)22 ・ カ// 9 (03)2ER ・ カ// 10 4 (04)23 ・ ク// 10 (04)23 ・ ウ// ア	H 日スケジュールの設定 1 (05)22 * 277 2 (05)22 * 277 3 (05)22 * 277 4 (04)23 * 277 5 (04)23 * 277 5 (04)23 * 277 11 (05)22 * 277 12 (05)22 * 277 17 (05)2		1997 (1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 -		n in	R82-11-180-1		
(05>22 • 207 7 (03>2ER • 207 8 (05>22 • 207 8 (03>2ER • 207 6 (05>22 • 207 9 (03>2ER • 207 6 (05>22 • 207 9 (03>2ER • 207 6 (04>23 • 207 10 (04>23 • 207	(05)22 1/7 7 (03)2ER 1/7 1/7 2 005)22 1/07 8 (03)2ER 1/07 3 (05)22 1/07 8 (03)2ER 1/07 4 (04)23 1/07 9 (03)2ER 1/07 4 (04)23 1/07 1/07 1/07 1/07 4 (04)23 1/07 1/07 1/07 1/07 4 (04)23 1/07 1/07 1/07 1/07 4 (04)23 1/07 1/07 1/07 1/07 4 (04)23 1/07 1/07 1/07 1/07 4 (03)2ER 1/07 1/07 1/07 1/07 4 (03)2ER 1/07 1/07 1/07 1/07	र वि	スケジュールの設定	- 22 - 02	L R	日スケジュールの設定		
2 (05)22 • 207 8 (02)2ER • 207 3 (05)22 • 207 9 (03)2ER • 207 1 (04)23 • 207 10 (04)23 • 207	2 (05>22 * 0/7 8 (00>2ER * 0/7 3 (05>22 * 0/7 9 (03>2ER * 0/7 4 (04>23 * 0/7 10 (04>23 * 0/7 5 (04>23 * 0/7 11 (04>23 * 0/7 5 (04>23 * 0/7 12 (06>22 * 0/7 5 (03>2ER * 0/7 12 (06>22 * 0/7	<05>Z2		- 207	7	KOG>ZER		207
3 (05)22 * が7 9 (03)2ER * が7 4 (04)23 * が7 10 (04)23 * が7	3 (05>22 • 077 4 (04>23 • 077 5 (04>23 • 077 6 (03>22R • 077 10 (04>23 • 077 11 (04>23 • 077 11 (04>23 • 077 12 (05>22 • 077) 12 (05>22 • 077 12 (05>22 • 077) 12 (05>27) 12 (05>	<05>Z2		× 297	8	KOG>ZER		例开
4 (04)Z3 • 9/7 10 (04)Z3 • 9/7	4 (04>23 ♥ ⁰ /7 5 (04>23 ♥ ⁰ /7 6 (04>23 ♥ ⁰ /7 6 (04>23 ♥ ⁰ /7 11 (04>23 ♥ ⁰ /7 12 (05>22 ♥ ⁰ /7 12 (05>22 ♥ ⁰ /7 17	(05)Z3	£	· 7/7	9	KOB>ZER	*	17T
	5 (04>23 * 107 5 (03>2ER * 107 11 (04>23 * 107 12 (05>22 * 107 12 (05>22 * 107 11 (04>23 * 107 12 (05>22 * 107	<04>Z3	6	- 90	10	04023		创工
5 (04)23 • 107 11 (04)23 • 107	6 (03>ZER <u>207</u> 12 (06>Z2 <u>307</u>	(04)Z3		- 5/7	11	(04) 23	1	勿7
6 (03)ZER • 207 12 (05)Z2 • 207	10 (03)7FR . Wr	<03>Z8	A.	+ 217	12	<05)22		207

図 3 - 14

標準入力では指標名称の入力は不要です。プログラムで名称の管理を行います。

4.3 運転条件

[入出力メニュー]の" <<1.4 スケジュー ル・運転条件"で『(3)運転条件』を選択 すると[1.4.3 運転条件](図 3-15)が表示 されます。

OPCO の入力を行います。

デフ	-	L	ト 1	(古)	1+	
ノノ	~ / /	ν	- T	ы	d	

	•				Contraction of the second	CALMER 4	Automatic Incom	In the second second second second
室使用開始	98	時		1	1000	3.1	an in the second	ensie fotschensistele
使用終了	18	時		1	OK 46004	373-7-14	14	
運転終了	18	時						
冷房開始	9	時					図 3	- 15
予冷終了	9	時						
暖房開始	8	時						
予熱終了	91	時						
中間期開始	91	時						
冷房条件	26	50 %						
暖房条件	22	40%						
中間期条件	24	45%						
年間条件	1月暖	旁	2月暖房	3月暖房	4月中間	期 5	月中間期	6月冷房
年間条件	7月冷照	旁	8月冷房	9月冷房	10月中間	期 11	月中間期	12月暖房

0	1 OP1 !	OPI		MDR			
1	REAH >		3				1/5
6	入力項目	入力1	3,712	入力口	2,734	λ.738	入,7)6
	設計出力·室使用時間	额财出力	使用繁殖時間	使用終了時間	ODALIST THERE		A
	1	(2)印刷田力復り	1	18	18		T
2 法电图场-子活动构建	2888445	予治許7時間	相关的社科型	子根研了问题	年間化力		
	2	8	P	8	10	(1)印刷出力表引	8
5	19-1年中間現合件	ANCE?00	序题(8)(100	NE MO BROD	CORR.H%	+110.000 B(0)	HIBRAHO
	And the second s	25.0	51	22 D	40	24.0	45
L	(律慧連載モード(1)	1.8	FR	D.A	和月	日月	14月
		(2) 暗菌条件	(12根果条)4	(2)根据条件	(3)中裂明条件	(3)中醫院委件	(1):8萬条件
5	神慧連転モードの	7.8	FR	PR.	10.9	11.8	12月
	Contraction of	(1). 水開条件	(1) 注意条件	(1)沙漠属条件	②中間期条件	(3)中間院条件	22. 編展条件

標準入力では指標名称の入力は不要です。プログラムで名称の管理を行います。

5.室内設計条件

[入出力メニュー]の " <A1 . データ入力 1__ 標準入力 " で『1.5 室内設計条件』を選択する と[1.5 室内設計条件](図 3-16) が表示され ます。

室内条件をまとめてタイプ別に室内設計条 件を作成します。

スペース入力時にタイプを選択すればこ れらの条件がまとめて入力されます。

ſ	1.Typ1	■ 黨內条件名称	Тур1	A FR	
<3	的条件>	18			1/1
No	入力项目	2,511	入力2	3,739	入力4
1	運転条件の設定	運転条件頻業		-	
		(01>0P1		S	- 1 F
02	外族取入晶件	外病量(w3.4h人)	外先量(w3/h)	外贸易计	
		þ	720	(13)版相处	
03	院明条件	295年小指標	病明器具型者	朝5月0W/m23	展型目 @.W2
		K01>1001	(2)半雄込み輩光灯	20	0.00
£	人員条件	20912~#指標	作業強度指数	(入册K人/m2)	の雅人
		(02) 人間1	(3) 事務用業務 軽い手行	81.0	a
5	秘密品件1	253~4-4指標	個月種類型番	(100.2010) (100.2010)	(潜動変動(W)
		K61>YYY	(3) 低進費具 室道+10°0	4000	a
6	相關集件2	299/1-6 指標	樹具種類型者	膜林苑秋(W)	潜热竞胜(8/3
	100000000		<u> </u>	0	0

図 3 - 16

6.スペース入力

[入出力メニュー]の"<A1.データ入力 1_ 標準入力"で『1.6 スペース入力』を選択する と[1.6 スペース入力 室選択](図 3-16)が 表示されます。

スペースの入力を行います。

入力したスペースデータの一覧表が表示され ます。

	1. 新規作成 3. 創 時					
2 更 新 4 視 写					<u>`</u>	
1	-14.4 >					4/200
No	富名作 (半角5	H:全角14桁)	陶	黨内產件	運転条件	室面も(m2)
1	E-2N:東事務室		2	[]]Typ1	<1>OP1	180.0
2	5-ZN:南事務室		2	[2]Typ2	<2>OP2	324.0
8	INTE :インテリア		2	[3]Typ8	<120P1	720.0
Ŧ	<未使用•		1			1
5	<未使用•		1			1
6	*未使用•		1	-		
7	*未使用#		-			
8	*未使用•		-			
6	*未使用•		-			
0	*未快用*			-		

🛛 3 - 17

《入力操作》

6.0 スペースデータ入力

[1.6 スペースデータ 室選択]で『新規 作成』または『更新』を選択すると[1.6 スペースデータ入力](図3-18)が表示され ます。

室データとして以下の 6 項目を入力しま す。

- (1)スペース名称、室用途
- (2)外壁・窓データ
- (3)内壁データ
- (4)隙間風データ
- (5)照明、人員、機器データ
- (6)家具、異形材、地中壁データ

2.外壁·葱카~9	5. 照明人員.被器疗~9
3 内里7)	6. 家具,異形材,地中型广告
	將了

図 3 - 18

6.1 室名称・室用途

[1.6 スペースデータ入力]で『1. スペー ス名称、室用途』を選択すると[1.6.1 スペ ース名称、室用途](図3-19)が表示されま す。

SPAC の入力を行います。

室タイプを選択すると室内設計条件の内容 がまとめて入力されます。 設定値の変更も画面で可能です

所属階を入力すると階高と天井高が自動設 定されます。

No	入力項目	2,511	2,112	ats.	
01	2パース名称	名称入力(半角6桁)	群翰名称入力(全角14亿)	計算要否	
		MLE	インテリア	<0>赤·暖-年間	
12	室内条件-预据磨+地上高	第1内条件」運転条件のPI	(Nille	地上部分の	
		EqyT (S)	¢.	8	
n	國治 支井高	「「「「「「「」」」」	夫井都公司	1	
		40	2.6		
14	压图网	(床面積(n2)または重要寸迭(n)	置模寸法(m)	(10)(第)	
		720.0	0.0	720.0	
S.	外壳条件	外氨量(m3/h人)	外质量Gn3/hJ	外预力2十	
		25	þ	(1)加州都引	

図 3 - 19

6.2 外壁・窓

[1.6 スペースデータ入力]で『2. 外壁・ 窓データ』を選択すると[1.6.2 外壁・窓デ ータ](図3-20)が表示されます。

OSWL、GSWDの入力を行います。 外壁とガラスを入力する場合はガラス面積 は外壁面積に含めて入力します。 階高は室名称画面での数値がデフォルト値 として設定されます。

標準入力では指標名称の入力は不要です。 プログラムで名称の管理を行います。

No	方12/IE	18111-17/8/41		外間	·公開 四日第二 回日第二	國家由于17月1日	日本記	1	融	山泉中
٩	<19>EST	dis vit	1.0	90.6	1.0	0591	0	1	42.2	0.9
	<1>A1	K01>WWL	93,8		1.9	(71)中間色1942年1月	42.2		1 1	
2	<19>E97	06W2	10	99.6	1.8	0692	1.0	1	0.0	0.0
	<2>A2	(02) BEA	39.1		1.9		0.0	1		
18		OSM3	0.0	0.0	1.0	0503	1.0	1	0.0	0.0
			0.0		1.0		1.0.	1		1
4	E.	OSM4	0.0	0.0	1.0	0584	0.0	1	0.0	0.0
	5		00		1.0		10	1		
8		OSMB	00	00	10	OS B 5	10	Í.	0.D	10
	2	È.	na		10		10		1 B	

図 3 - 20

6.3 内壁

[1.6 スペースデータ入力]で『3. 内壁デ ータ』を選択すると[1.6.3 内壁データ] (図3-21)が表示されます。

ISWLの入力を行います。

天井高は室名称画面での数値がデフォルト 値として設定されます。

標準入力では指標名称の入力は不要です。 プログラムで名称の管理を行います。

5.1	0.517(987) -3	<u>/</u>				1/8
No	##\$#D+P+	壁-床部材委号	经实现工计。	天井斎さ	長さ	置待 しの20
	ISW1	<01> ISW	(1)空調室	1.0	96.0	36.0
2	150/2	<02>P.AR.	(1)空調室	1.0	144.0	144.0
1	15W3	<03>FL0	和空調業	1.0	180.0	180.0
1	ISW4	<04>CEL	(1)空洞室	1.0	180.0	180.0
5	ISWE		1	0.0	0.0	0.0

図 3 - 21

6.4 隙間風

[1.6 スペースデータ入力]で『4. 隙間風 データ』を選択すると[1.6.4 隙間風デー タ](図3-22)が表示されます。

INFIの入力を行います。 隙間風の入力方法は JOB 名称入力画面の軒 高の入力で決定されます。

- ・クラック法の場合は軒高>0を入力
- ・換気回数法の場合は軒高=0を入力

標準入力では指標名称の入力は不要です。 プログラムで名称の管理を行います。

No	入力项目	ا لتر ۸	217.4	2,718	入力は
1	a.りうsウ(古(1))	#1910-1-1	方位指摘	観闇長さん)	サッシ足数
		DJF 1	CI 9D EST	90.0	3.2
2	a95約注(2)	37915-F	方位推携	随間長さ(m)	サッシ定数
		INF2	Í	0.0	0.0
3	* 57-5注(3)	14-148年	方位参傅	(細胞実さらか)	サッシ定款
		DNF3		0.0	0.0
4	a.95%为法245	(新9D-+-)	方位指導	随間戻さらい	サッシ定計
	(1000) (100) (100)	DAF 6		0.0	0.0
6	b換筑回数法	118日十	2955-6指標	操作回款回/h2	
	Contraction and the	DIF5	1	8 00	

図 3 - 22

6.5 照明、人員、機器データ

[1.6 スペースデータ入力]で『5. 照明 人員、機器データ』を選択すると[1.6.5 照 明、人員、機器データ](図 3-23)が表示さ れます。

LIGH、HUMA、EQUI の入力を行いま す。

室名称入力画面の室タイプの選択により室 内設計条件の内容がまとめて入力されてい ます。

標準入力では指標名称の入力は不要です。 プログラムで名称の管理を行います。

6.6 家具・異形材データ

[1.6 スペースデータ入力]で『6. 家具、 異形材、地中壁データ』を選択すると [1.6.6 家具、異形材、地中壁データ](図 3-24)が表示されます。

FUCOの入力を行います。

外界の影響を受けにくい地中壁や土間床の 場合も家具・異形材の項目で入力します。

No	入力項目	Itte	2,72	Rts	入力以	3,715
1	BER ER	調測ロード	275 1-4 指標	原明일종	フット教(w/m2)	Dol Hang
		LIGH	(01)時期1	(2)丰壤込み凿	20	a
2	入員	調別ロード	255-1-1 指標	作業建度指数	入黄(人/n2)	人類(人)
		HUMA	(02)人員1	(3)事務所業務	0.18	0
3	香蒜1	部別ロード	20012~小指缀	2/#	難怒充効量(W)	潮効発熱量(W)
		EQUI	(61) 根魯年間)	(2)低温器用	4006	0
4	∦聽2	諸別白ード	2012-14音響	24	鐵總発給量·W/>	潜航先转量(w)
		EQU2			D	a

図 3 - 23

No	入力项目	えカル	7,732	入力の	入力4
1	家具祭容量	终容量(0.1/e/3K)			
		12.6			
2	家具·異形材(1)	柱・梁・地中壁の翌香	単位面積(m2)	長さ(6)	面積(e,2)
		62800mm2600mm	71.A	1.0	71.4
13	家具·具形村(2)	社・梁・地中型の型者	単位面積(si2)	長さ(m)	面積(s2)
		(4)1000mm:1000mm	80.0	1.0	30.0
H.	家具・真形材(3)	桂・湯・地中間の梨香	単位面積(s+2)	調さ(m)	面積(s2)
			0.0	0.0	0.0
5	家具(真能特(4))	桂・湯・地中間の梨香	単位面積(si2)	- 馬さ(m)	面够(m2)
		-	0.0	0.0	0.0
8	家具·具用村45>	住・梁・地中盤の梨香	单位的插(m2)	953(6)	面髓(m2)
	100000000000000000000000000000000000000		0.0	0.0	0.0

図 3 - 24

7. MPK/2000 ファイル変換・表示

[入出力メニュー]の"<A1.データ入力 1_ 標準入力"で『1.7 MPK/2000 ファイル変換・ 表示』を選択すると[1.7 MPK/2000 ファイル 変換・表示](図3-25)が表示されます。

MICRO-PEAK/2000 プログラム用ファイル を作成します。



図 3 - 25

7.1 MPK/2000 ファイルに変換

[入出力メニュー]の "<<1.7 MPK/2000 ファイル変換・表示"で『(1) MPK/2000 ファイル変換』を選択すると[1.7 MPK/2000 ファイルに変換](図 3-26)が 表示されます。

『名前を付けて保存』

ファイル名称をつけて保存ボタンを クリックします。 同じ名称のファイルが有る場合は確認 のメッセージがでます。

『上書き保存』

以前の名称でそのまま保存します。

7.2 MPK/2000 ファイル表示

[入出力メニュー]の "<<1.7 MPK/2000 ファイル変換・表示"で『(2) MPK/2000 ファイル表示』を選択すると[1.7 MPK/2000 ファイルに変換]で変換したフ ァイル内容が表示されます(図3-27)

アイルロ 編集包 検索図	UNAIGN .					
Del://s	45 10 01153011 01183011 01183011 1183011 1183011 11830 118000 118000 118000 118000 118000 118000 118000 118000 118000 1180000 1180000 11800000000	5 0 5 0 0 43845855 8 5 8 5 8 011, 840 022, 840 720 1	16 11 19 16 11 10 15 11 19 18383 1 854. 0 954.	9 16 7 15 7 15	140 10 10 140 10 10 140 10 10 140 10 10 140 10 10 140 10 20	
UMAHUMASIS 00.10 0 DULEQUIYUI 8 4000 UCI 12.6 6 71.4 121 PAC 7022-70 0 224.0 20	0 4 31.0	0.0				

図 3 - 27



X 3 - 26

8.印刷

[入出力メニュー]の"<A1.データ入力 1_ 標準入力"で『1.8 印刷』を選択すると[1.8 印刷](図3-28)が表示されます。

印度纳莱斯	印刷项目内容	新田	印刷有無	耳關項目內容	新田
E	1547笔和方位底		r _	7年299/5-6	
E	2.建築材料			8.课账条件	
R	ತ ಿಸರ ನ		- E	R室内原针条件	
E 🔄	4外壁·内壁等→	設定等し	_	10スペースデータ 🔿	190E#
	5.非空國電腦高·天井高			11変換ファイル	
TR	£8,279′a−6				
		[(n. B)	1	-r

図 3 - 28

《印刷手順》

- ・印刷する項目内容と印刷の有無を設定した後、印刷開始します
- ・印刷有りでも、印刷項目の設定が無ければ印刷無しとなります。

《スペースデータの印刷範囲の設定》

・印刷する室をチェックします。

(力手順) 南する項目付めして選択		
	(灌択)(ニュー)	
E KOTSE-ZNI	□ <1>	- 真敬
(112)S-ZN	 <12>	1 /10
t koosonte:	□ 430	
C (04):	<u>⊢</u> <14>	次頁
(05):	□ (15)	
= <06):	(n⊳:	N.A.
(07):	(17)	\$TIMP/+
C (09):	☐ 480	-Stip
- (89)×	 <100	OK
(10):	C (20)	46720

🕱 3 - 29

第4章 A2.データ入力2_既存MPK データ入力

[入出力メニュー]の " <入出力項目名称 " で 『A2.データ入力 2_既存 MPK データ入力』 を選択すると [<A2.データ入力 2_既存 MPK データ入力](図4-1)が表示されます。

既存データをもとに新規作成された場合は標準 フォームモード入力となりエディタ的な入力方法 となります。

ABUX:1-	
08-GMICSomple Date for Upon's Manual on MICR	0-PEAK/2010
《入出力項目名件	< A25 ¹ 4入力2. 日和HPK9 ^{-4入力}
40 7 H9 /s T0 JE # X 20	2.1.5%13.66%8082018
A23 与入力2.世界NPK3 与入力	2.2 方道撒骥
AT MERO-PEAC/20001:15 H	28月25ジュール 毎週
81 計算起業の集計	24年スクジェール指標
R S	25 外望板镜
「いるデータ人力について「入力支援	26 内閣務課
・資源1963年に考慮標準入力とすとなり 比率的な入力方法が利用できます。 ・管理3~69年のご要提作におれた増会は	2.7 運転指導
最早りa-6モード入力となります。 ちはとなります。	2824-2
AD 計算COUT ・NICRO-FEAK/2000(建築設備技術者協会発 - ROVITING) SH GRA72 (ます	29 495/2003 245 夏茶 表示
081 经单位事件101×17114月18日 • MOCRO-PEAK /2000/20日夏福県2+16至月間	218 6(8)
してスパースドーラを充純素料します。 ・集計5~411275 長下・外部52~16出力等を行い 素売えを知った用ファスティー	会現はデータ入力が必ずしたことも不足ます。 の通貨の時間は、本の事業にあまっとお問題、デ用目的に、ディギャット

図 4 - 1

JOB 名称・気象データ入力
 [入出力メニュー]の "<A1. データ入力 2__
 既存 MPK データ入力 "で『2.1 ジョブ名称・
 地域その他』を選択すると [2.1 JOB 名称・
 気象データ入力](図42)が表示されます。

BUIL の表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

隙間風の入力方法は軒高の入力で決定されます。

・クラック法の場合は軒高>0を入力。

・換気回数法の場合は軒高=0を入力。

No	入力項目	入力1	入力2
1	JOB名称	JOB名称(全角40桁)	
		Sample Date for User'	s Nanual on MICRO-PEAK/2000
12	計算稽度・地域	計算構度(%)	地域選択
		0.1	<16>東京
13	気象2~9TAC 選択	冷房	暖房
		K2>TAC10N	<2>TAG10N
4	7分位的第日射量	日射量(W/m2)	
		293	
5	軒高·地物反射率	(軒高のラック法)	地物反射率
		45	0.1

図 4 - 2

2. 方位指標

[入出力メニュー]の "<A1.データ入力 2__ 既存 MPK データ入力"で『2.2 方位指標』を 選択すると[<<2.2 方位指標](図 4-3)が表 示されます。

EXPS の表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。



図 4 - 3

3.日スケジュール指標

[入出力メニュー]の"<A1.データ入 力2_既存MPKデータ入力"で『2.3日 スケジュール指標』を選択すると[<<2.3 日スケジュール指標](図 4-4)が表示さ れます。

SCHE の表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

10	297.1-16	-								-				1310	1/60
No	スウジュール 指標	1451/	451/	1981	1481/	HADA	1000	HADV	easy.	1951/	報知	時限/	清晰地	479936	年間10
1	Ш	9	12	13	18	20	p	D	D	0	þ	0	100	50	80
	and the second	100	50	00	20	1	p	þ	0	0	D		1		
92	MAN	9	12	13	18	20	p	þ	0	0	p	0	100	50	90
		100	SD	DO	10	1	D	P	p	0	p	16 3			
03	ZER	p	12	13	1B	1	p	þ	0	a	þ	0	100	60	80
		20	1	ho	h		h	0	h	0	b	0.3			



4.年スケジュール指標

[入出力メニュー]の"<A1.データ入 力2__既存MPKデータ入力"で『2.4 年 スケジュール指標』を選択すると[<<2.4 年スケジュール指標](図 4-5)が表示さ れます。

YSCHの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。



図 4 - 5

5.外壁指標

[入出力メニュー]の"<A1.データ入 力2_既存MPKデータ入力"で『2.5 外 壁指標』を選択すると[<<2.5 方外壁指 標](図4-6)が表示されます。

OTWM の表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。



図 4 - 6

6.内壁指標

[入出力メニュー]の"<A1.データ入 力2_既存MPKデータ入力"で『2.6内 壁指標』を選択すると[<<2.6内壁指標] (図4-7)が表示されます。

INWMの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

No	内閣	閣	關	相形/	相對/	村南/	村都/ 厚み	[標]	繫	構成	料理/	糖/	「「「月日」
11	SW	<81>	(27)	(22)	(27)	(31>			1				1
		3	15	100	15	3	D	p	a	a	D	0	a
12	PAR	(54)	(92)	(54)									
		6	D	6	p	0	0	D	0	6	p	0	þ
13	FLO	<43>	(27)	(22)	(92)	(75)	T	T	T	T	1	T	T
	1	9	20	130	0	16	0	0	0	0	p	0	0

図 4 - 7

7. 運転指標

[入出力メニュー]の"<A1.データ入 力2_既存MPKデータ入力"で『2.7 運 転指標』を選択すると[<<2.2 運転指標] (図48)が表示されます。

OPCOの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

5.0	003	250	2 million	1959-65	onner:	- An Al-	102-217	1	0.072	÷			00110	an an sa	N (1000	1/10
No	連邦	BH 出力	調問	(通数) 85 T	注意 開始 予冷秘で	深勝 DB RH	編開 開始 予想終了	NB DB RH	年間 出力	19855	DB RH	1月 2月	3月 4月	SA SA	明	10A	12月 12月
n	OP1	(2)	9	18	9	26.0	9	22.0	<12	8	0.0	(2)	(2)	(3)	(1)	k1>	(2)
			18		9	50	10	40	1		0	(2)	(3)	K1>	(12	(3)	(2)
2	OP2	\$12	p	18	9	26.0	9	22.0	<0>	0	0.0	(2)	(2)	(5)	R1>	K1>	(5)
	1000	1.1	18	1	9	50	10	40	1		0	(2)	(5)	(1)	(1)	(6)	(2)

図 4 - 8

8. スペース入力

[入出力メニュー]の"<A1.データ入 力2_既存MPKデータ入力"で『2.8 ス ペース』を選択すると[<<2.8 スペース 入力 室選択](図 4-9)が表示されま す。

入力したスペースデータの一覧表が表示 されます。

1.14	Mfrat.	3. (9) (1		R 5
2.1	Em	4, 28, 58	2	1.10
T-NO	0		-13 - 5	3/200
No	案名称《半角66113	2月1467	運販条件指標	新田間(m2)
E-ZN	4		OP1	180.0
S-ZN			OP2	324.D
INTE	=		OP1	720.0
4 **	御書		1	2 B
5 + +.	₹RI+			
6 ·未	2冊*		_	
7 ***	把		-	3 8
8 ***	更用>			2 2
0 ***	現開を			
D +	2册+		-	

図 4 - 9

《メニュー操作》

- ・「新規作成」・・・・・・『新規作成』ボタンをクリック
- ・「更新」 ・・・・・・・ 入力する室を選択して 『更新』 ボタンをクリック
- ・「削除」 ・・・・・・・・削除する室を選択して 『削除』 ボタンをクリック
- ・「複写」 ・・・・・・・・ 複写する室を選択して 『複写』 ボタンをクリック

8.0 スペースデータ入力

[2.8 スペース入力 室選択]で『新規作 成』または『更新』を選択すると[2.8 ス ペースデータ入力](図4-10)が表示されま す。 室データの入力として以下の7項目を入力 します。

- (1)スペース名称、運転条件
- (2)外壁データ
- (3)内壁データ
- (4) 窓データ
- (5)隙間風データ
- (6)照明、人員、機器データ
- (7)家具熱容量データ

eNo:1 全名称:E-ZN	
1. スヘ℃ス名称、運転条件	5. 隙間風データ
2. 外壁データ	6. 照明,人員,機器データ
3. 内壁データ	7. 家具熱容量データ
4. 窓データ	終了

図 4 - 10

8.1 スペース名称、運転条件

[2.8 スペースデータ入力]で『1. スペー ス名称、運転条件』を選択すると[1. スペ ース名称、運転条件](図4-11)が表示され ます。

SPACの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

No	入力項目	入力1	A.trz	入力の
	スペース名称・運転条件	スペース名称(半角6桁)	運転条件指標	什算要否
		E-ZN	OPI	(0)冷,暖,年間
促 保商商		(床面積 (e2)	地上高 (m)	(天井高 (n)
		180.0	90	2.60
80	外围重	外壳量 Serathe A2	外销量 (m3/h)	外贸力力ト
	-	p	720	(1)外宗老力ットする
4	詳細21~2.名称	詳細Xパー2名符(全角(4石)		1
			i i	

図 4 - 11

8.2 外壁データ

[2.8 スペースデータ入力]で『2. 外壁デ ータ』を選択すると[2. 外壁データ入力] (図4-12)が表示されます。

OSWLの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。



図 4 - 12

8.3 内壁データ

[2.8 スペースデータ入力]で『3. 内壁デ ータ』を選択すると[3. 内壁データ入力] (図4-13)が表示されます。

ISWLの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

No	識別コート	内壁 指標	隣室温 コード	面積(m2)
01	ISW	ISW	0	36.0
02	PAR	PAR	0	144.0
03	F	FLO	0	180.0
04	c	CEI	0	180.0
05			0	0.0

図 4 - 13

8.4 窓データ

[2.8 スペースデータ入力]で『4. 窓デー タ』を選択すると[4. 窓データ入力](図 4-14)が表示されます。

GSWLの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

via:	編成り コード	方位 指標	材番	ガラス定 面積(m2)	放射率
GI	AS	EST	71	42.2	0.9
200		-	0	0.0	0.0
1			0	0.0	0.0
53			0	0.0	0.0

図 4 - 14

8.5 隙間風データ

[2.8 スペースデータ入力]で『5. 隙間風 データ』を選択すると[5. 隙間風データ入 力](図4-15)が表示されます。

INFIの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

22	ST PERMIT	-9A.71 >		1/4
Na	観日二下	ム方位指標 ムスタッシュール指標	山間間長さらい	4サジノ定制 6時代回転1回/40
П	DIFI	EST	90.0	3.2
0			0.0	0.0
8			0.0	0.0
4	-	8	0.0	0.0

図 4 - 15

8.6 照明、人員、機器発熱データ [2.8 スペースデータ入力]で『6. 照明、 人員、機器データ』を選択すると[6. 照 明、人員、機器データ入力](図4-16)が表 示されます。

LIGH、HUMA、EQUI の表示を行いま す。 内容の追加修正を行うことができます。

No	入力项目	2,731	3,72	入力13	入力4	2,755
и	熱明	語りロード	スケシュール指導	网络里参	ワット数(m2)	ワット数の第
		LIGH	LTT	(2)牛埠込み室光灯	20	0.00
12	λ R	第日ロード	対シュール指導	作業建度指数	人對(人/n2)	人数(人)
		HUNA	MAN	(3)事務原業務、職()手行	0.18	0
8	を貫1	よう A B B B B B B B B B B B B B B B B B B	対シュール指導	24	對約発熱量(W?	潜然発動量(W)
		ZERK	ZER	(3)低温器具 室道+10°C	4000	0
a.	総督2	MBH-F	スケショール指導	200	副前 前第基量-W2	潮热発热量700
	1000				D	D

図 4 - 16

8.7 家具・異形材データ

[2.8 スペースデータ入力]で『7. 家具、 熱容量データ』を選択すると[7. 家具、熱 容量データ入力](図 4-17)が表示されま す。

FUCOの表示を行います。 内容の追加修正を行うことができます。

No	入力項目	入力1	入力2
1	家具動容量	1822年(kJ/m3K)	
		12.6	
12	家具・異形材(1)	柱線の型像	
		(6) 300mmx600m	71.4
33	家具+異形材<2>	柱・梁の型書	酉積(m2)
		(4) 1000 mmx1000	ao.o
H.	家具·異影材(3)	柱・梁の型番	面積(m2)
			0.0
8	家具·具形材(4)	柱頭の型番	(吉特Ga2)
			0.0
16	家具·異形材(5)	柱・梁の型帯	图稿(m2)
			0.0

図 4 - 17

9. MPK/2000 ファイルに変換・表示

[入出力メニュー]の"<A1.データ入力 2_ 既存MPK データ入力"で『2.9 MPK/2000 フ ァイル変換・表示』を選択すると[<<2.9 MPK/2000 ファイル変換・表示](図 4-18) が表示されます。

建築設備技術者協会の Windows 版 MICRO-PEAK/2000 プログラム用ファイルを 作成します。

《入出力項目名件 [117]-3人行(JE版人力)	(A25)の入力2.日存HFK5-4入力 21ジョブ高新発展その後	<(2.9.MPE/20187+体安排+表示 可3MPE/210051-切+化-亚纲
A2.9~4入72.胜律NFK9~4入力	2.2 万位推销	23MPK/210051-501化表示
AT MERO-PEAC/2000101511	288779a-0460	
田計算結果の裏計	24年スケジュール指標	
₩ 5	25 朱磁和微	
2テータ入力について(入力支援	2.6 内國發展	
れ後からのそれと考慮者事人のようとなり は早的以入力方法が利用できます。 気はかー語もとに動産作成された場合は	27 運転指導	
素単フォームモード入力とならビナルホーのな入力 ち法となります。	2824-2	4
作品について、 IERIO-FEAK/2010(連続計構技術者協会発 NO21015ムで計算を行います。	29 MR/3007HWXS+&T	
結果の集計について日出力を修	211 618	

図 4 - 18

9.1 MPK/2000 ファイルに変換

[入出力メニュー]の "<<2.9 MPK/2000 ファイル変換・表示"で『(1) MPK/2000 ファイル変換』を選択すると[2.9 MPK/2000 ファイルに変換](図 4-19)が 表示されます。

ライフ ¹ / フオルダー 和	(奈日)	II データ	の保存について
c:		11 データ	市日で保存>
0 ¥ Program Alles Micropeak VisitA	Samplet dat Samplet dat Samplet data Samplet ant Samplet it.1 Samplet it.2 Samplet m.csv Samplet s.csv	2017 (学校) (学校) (上観) (上観) (学校) (学校) (学校) (学校) (学校) (学校) (学校) (学校	(月中的テータにも前き(前方し ます。 スで名称を入力,ます。 得存) ファイルをそのままの名称で ます。

2 4 - 19

《操作方法》

名前を付けて保存・・・・・ファイル名称をつけて保存ボタンをクリックします。 同じ名称のファイルが有る場合は確認のメッセージがでます。 上書き保存・・・・・・・・以前の名称でそのまま保存します。

9.2 MPK/2000 ファイル表示

[入出力メニュー]の "<<2.9 MPK/2000 ファイル変換・表示"で『(2) MPK/2000 ファイル表示』を選択すると[2.9 MPK/2000 ファイルに変換]で変換したが 表示されます(図4-20。

🖉 Npic2K (0002.det - 5459		
フィール(日) 編集(日) 枚	構築 AICUU	
Banale Bote for Use Built016 2 EXP3 EAT 91.0 2 EXP3 EAT 91.0 2 EXP3 EAT 91.0 1 EXP3 EAT 91	IT'S MENUEL OF MICHO-FEMIZION 2213 45 10 ITEL 0 0115370115 0 15 11 19 7 15 1.6 0115470115 0 15 11 19 7 15 1.6 0115470115 0 15 11 19 7 15 10 13410 18 20 20 0 15 11 19 7 15 10 13410 18 20 20 0 15 11 19 7 15 10 13410 18 0 20 0 18 0 180 10 0 0 13 30 18 0 18 0 180 180 180 180 10 0 13 30 18 0 18 0 180 180 180 180 180 10 0 13 30 18 0 18 0 180 180 180 180 180 180 1 38 0 18 0 18 0 180 180 180 180 180 180 1 38 0 18 0 18 0 180 180 180 180 180 0 13 30 18 0 18 0 180 180 180 180 180 0 13 30 18 0 18 0 180 180 180 180 180 0 13 30 18 0 18 0 180 180 180 180 0 13 30 18 0 180 180 180 180 180 0 13 30 18 0 180 180 180 180 0 13 30 18 0 180 180 180 180 0 18 0 18 0 180 180 180 0 18 0 18 0 180 180 180 0 18 0 18 0 180 180 180 180 0 18 0 180 180 180 180 180 0 18 0 180 180 180 180 180 0 18 0 180 180 180 180 180 180 0 18 0 180 180 180 180 180 180 180 180 0 18 0 180 180 180 180 180 180 180 180 1	
FULL FULL FULL FILL FULL FULL FULL FULL FULL	0 0	

図 4 - 20

10.印刷

変換したファイルを印刷します。

第5章 A3.MICRO-PEAK/2000計算

A1,2.データ入力で作成、変換したデータをもとに負荷計算を行います。

《計算手順》

す。

[1]計算に使用するデータファイルを選択設定
 [入出力メニュー]の"<入出力項目名称"
 で『A3.MICRO-PEAK/2000 による計算』を選択すると表示される[MICRO-PEAK/2000 のデータの設定と計算](図 5-1)で、MICRO-PEAK/2000 の計算用に変換したデータファイルを"ファイルリスト"から選択設定します。

NUCRO-PER	K/20000/1-90 税定台計算	
I Y'947' / T C:V C:V Prograv Micros Nicros	n Files xak	II NICRO-PEAK/2000での計算について II で計算年間で の計算でに用するデーカッルを準約設定 MERO-PEAK/2000の計算用に変更した デーカッパルをひうんはしかる運行開発します。 (2)計算間になったがはかる運行開発します。 (2)計算間になったがはかる運行開発します。 (3)計算間になったが、2000日を約20日までのです。 MERO-PEAK/2000日を約2日まで、 (3)MERO-PEAK/2000日を約1まだいます。 (3)MERO-PEAK/2000日電気計算だ行います。 (3)MERO-PEAK/2000日電気が発音す MERO-PEAK/2000日電気が発音す。
741岁-名称	C ¥Program Files¥Mic	ropeally例题
77作名称	Sample1 dat	



[2]『計算開始』ボタンを押す
 MICRO-PEAK/2000 が自動起動し、
 [MICRO-PEAK 計算](図 5-2)計算画面が表示されます。

[3] MICRO-PEAK 『計算実行』 ボタンを押す

MICRO-PEAK/2000 による計算を行いま



図 5 - 2

[4] MICRO-PEAK 『終了』ボタンを押す
 『終了』ボタンを押すと、MICRO-PEAK/2000の画面が終了し、[終了確認]メッセージ(図 5-3)が表示されるので『OK』ボタンを押す。
 [入出力メニュー]に戻ります。



第6章 B1. 計算結果の集計

[入出力メニュー]の"<入出力項目名称"で 『B1.計算結果の集計』を選択すると[B1.計 算結果の集計](図6-1)が表示されます。



図 6 - 1

[データ集計について]

- MICRO-PEAK データは建築技術者協会の MICRO-PEAK/2000 で入力・計算したデータが必要です。
- ・本プログラムはMICRO-PEAKの計算結果の集計と追加計算のみを行います。 負荷計算自体は予めMICRO-PEAKで終了させておく必要があります。
- ・系統は、構成するスペースデータを指定して集計します。 同じスペースデータがある場合、倍数指定できます。
- ・熱源は、構成する系統データを指定して集計します。同じ系統データも倍数指定できます。

印は入力終了確認のマークです。 があるのを確認して計算結果の画面表示と印刷出力を行ってください。

注)1,2,3,4の条件変更を行った場合は『5.負荷集詰計算』を再度行う必要があります。

1.データ入力

1-1. MICRO-PEAK データセット (データを読込む) [B1.計算結果の集計]で『1.1 マイクロピーク テ ータセット』を選択すると、[1.1 マイクロピークデー タセット](図6-2)が表示されます。

MICRO-PEAK 計算で以前に名前を付け て保存したファイルを開きます。

『開く (更新)』をクリック

ドライブリスト でドライブを選択

フォルダリスト でフォルダを選択

ファイルリスト でファイルを選択

11 94008 MUICOLITE II [[1'ライフ' / フオル 7付加ビーク入力1774年のAmicropeakを刻語#sam 酸目計算1746-sample1.scsv 年間計算1746-sample1.scsv 年間計算1746-sample1.scsv く入力物件調要> 0. ٠ C:¥ Sample Date for User's Manualon NIGRO-PEAK. 室名称 面積(n/2) micropeat samplet dtd samplet ert samplet .tt 0.0E-ZN 190.0 205-ZN 824.0 0.0NTE 720.0 amplet.lt2 amplet.m.cav -7sllf-名称 O¥micropeak¥例题 7x10 名称 sample1.dat (EK 机机

26-2

『開く』が表示されますのでこれをクリックします。

正しいファイルでない場合はメッセージが出力されますので、再度ファイルの選択してください。 データの読み込みを中止する場合は『キャンセル』をクリックします。 選択したファイルがMICRO-PEAKファイルの場合、物件内容を自動的に読んで表示します。 ただし計算結果ファイルとして以下のファイルが同じフォルダに必要です。

入力ファイルを****.Dat とすれば

ピーク計算結果ファイル ******s.csv 年間計算結果ファイル ******t.csv

1-2. 建築情報入力

[B1.計算結果の集計]で『1.2 物件名称・建築情報入力』を選択すると、[1.2 建築情報入力](図6-3)が表示されます。

MICRO-PEAK/2000 で入力した項目は自 動的に転写されます。

ここではそれ以外の項目を必要に応じて 入力します。

No	入力項目	٨tn	2,52		
η	物件名称-場所	物件名称	物件場所		
		Sample Date for User's Manualon NDD RO-P	東京		
e	跑注者	院注意			
8	T五時18-45日前18 丁五時18		感音和加		
		(2) 政府	(1)SRC 終發鉄節		
94	建物規模	推上職	地下階		
8	建紫面積 延床面積	建築面積	延尿面積		
76	超工年·工M	481.44	I MR		

図 6 - 3

2. 室名称・計算条件入力

[B1.計算結果の集計]で『2.室名称・計算 条件入力』を選択すると、[2.室名称・計算 条件入力](図6-4)が表示されます。

《入力項目》

詳細室名称 ご室名称入力 20 文字
 全熱交換対率 ご数値入力
 機器選定ファイル出力用外気負荷
 潜熱処理 ご 項目選択
 1 含む(水加湿)

2 不含(蒸気・パン型加湿)

- 28	697-IT 11.983	44317	1000000		1210/2000	4/10
No	すりない	(62) 原題概	ini30 外死量	詳細當名称(漢字20新)	全時交換 効率の	· 保持规定:7-14- 外供通道清晰处理
1	E-ZN	180.0	720	事務室	p	(1)含む(水加型)
2	s-ZN	824.D	1296	金融家	p	(1)含む(水加湿)
3	INTE	720.0	3600	一般事況重	þ	(1)含む(水加湿)
1	2		1		þ	
5	í.	1	8		þ	
5					þ	
7					þ	
8	-		12		D	
2		1			0	
0				1	p	
	nem 1			A REPORT OF THE	-	IN THE REPORT OF THE REPORT OF THE

図 6 - 4

デフォルトは 1 です。

《外気負荷潜熱処理について》

潜熱を含まない場合は機器選定用ファイル出力で外気負荷に潜熱を含みません。

《室番号を指定して設定》

開始番号、終了番号と条件を入力して『設定実行』をクリックします。

MICRO-PEAK/2000 での計算は全熱交換器の効率は無視されていますが、本プログラムは全熱交換器の効率を考慮した負荷計算を行います。

3.系統集計データ入力

[B1.計算結果の集計]で『3.系統集計デー タ入力』を選択すると、[3.系統集計データ 入力](図6-5)が表示されます。

《入力項目》

ゾーン名称 ・・・・・・ ゾーン名称を入力 20 文字 構成数 ・・・・・・数値入力 (同一室がある場合)

スペースデータ x 構成数でゾーン負荷集 計を行います。

入力できるゾーン数は最大40です。

く系統す	ミヨテータ入ナ	1>		1/10
No 室	名称	詳細室名称	(m2) 室面積	構成数
)1 E-:	ZN 事務	室	180.0	1
)2 S-	ZN 会議	室	324.0	1
)3 IN1	E →∰	事務室	720.0	1
)4			0.0	0
15	<u> </u>		0.0	0
16			0.0	0
7	/		0.0	0
18			0.0	0
19			0.0	0
0			0.0	0
1.4.0	合	₽		▶気量= 1224.0/5616

図 6 - 5

4. 熱源集計データ入力
 [B1.計算結果の集計]で『4.熱源集計デー
 タ入力』を選択すると、[4.熱源データ入力]
 (図6-6)が表示されます。

《入力項目》

熱源ゾーン名称・・・・ゾーン名称を入力 20
 文字
 構成数・・・・・・数値入力
 (同一系統がある場合)

ゾーンデータ x 構成数で熱源負荷集計を行 います。

入力できるゾーン数は最大40です。

*	統集計方向	叔 历》		[
0	室名祚	詳細室名称	(#2) 室前枝		構成数	
	E-ZN	李元室	180.0	1		
	8-ZN	全論室	824.0	1		
	INTE	一般事務室	720.0	1		
			0.0	0		
0	1		0.0	0	1	
1	2 2		n.u	0		
	1. 0	10	0.0	0		
			0.0	a	-	
	0		(p.o	0		
-	2	20 27	0.0	a		
		合計	- アーン面積/タ	▶ <u>東</u> 豊= 122	4.0/5616	

図 6 - 6

5.負荷集計計算

[B1.計算結果の集計]で『5.負荷集計計算』を選択すると、室計算条件、系統集計条件、熱源集計条件により集計計算を行います。

・全熱交換器の効率を考慮した室負荷の計算

・スペースデータx構成数でゾーン負荷集計計算

・ゾーンデータx構成数で熱源負荷集計計算

MICRO-PEAK での計算値

室負荷+全熱交換効率0%の外気負荷



6. 室負荷値表示

[B1.計算結果の集計]で『6.室負荷表示』 を選択すると、[室負荷値表示](図 6-7)が表 示されます。

《表示内容》

- ・室内負荷顕熱
- ・室内負荷潜熱
- ・外気負荷顕熱
- ・外気負荷潜熱
- ・室内+外気負荷顕熱
- ・室内+外気負荷潜熱

001	E-2N_A	RZ		6557-550080	 一、 一、 二、 	E: 180.0 (+ 2) : T20 (+ 3/h) 20.0 (W/+2) SH+4000 (W)	実井満22.604 =1009.87年人) +0.016902 人参 LH=0.002 概算	1) 聖容積:4693 +720(m3/h) 全勢 庫0.18(人/m2) - 時間潜動処理:	1(m3))文(格=000) •0(人) (1) 後む(3kt)
く第	负荷值 2	(新)	单位 900	室内条件	DB-26.0(C)	RH-50.0%)			8724
No	- 1401	外完备件 08	外完造件 RH	軍内負荷	国内有向 温热	外芸員商	外完負荷	[国内+外表] 開創+満熱	加速量
8	814	28.5	71.D	18363	2793			21156	
0	913	29.7	66.6	18363	2793	892	4226	26274*	
D	1019	90.7	63.3	14462	2065	1133	4286	21946	
-	1100	31.6	59.5	15334	3349	1350	4166	24199	
2	12時	32.1	57.2	13196	2345	1471	4045	21057	
3	138	32.3	57.2	15962	3490	1510	4166	25046	
		「自営盛の	明知想へい	1	131045	COLUMNATION OF	CARDINA I	グラフ表示	

図 6 - 7

《負荷値の取り扱い》

- ・冷却負荷 ・・・・ 冷却除湿が正とします
- ・暖房負荷 ・・・・・ 加熱加湿が負とします

《グラフ表示》の手順

[6.室負荷値表示]で『グラフ表示』をク リックすると、《負荷グラフ》(図 6-8)が表 示されます。

リストから表示する室と月を選択 上段・・・・・ 冷房負荷 下段・・・・・ 暖房負荷



図 6 - 8

《ファイル出力》の手順

[6. 室負荷値表示]で『画面表示内容ファ イル出力』をクリックすると、《ファイル出 力》(図6-9)が表示されます。

『ファイル出力』をクリック

ドライブリスト でドライブを選択

フォルダリスト でフォルダを選択

ファイルリスト でファイルを参照

「ファイル名称」でフルパスで名称入力

『ファイル出力開始』 をクリック

<u>_</u>	1.000	表示>	單位 900	室内条件(08-26.0(C) I	RH=50.000		IN TOTAL STREET,	8/24
No	時別	外完备件 DB	外完造件 RH	軍内負荷 開始	国内自向 温热	外贸易间	外完負荷 潜熱	[国内+外宗] 開約+満林	加速量
9	81	286	21.1 (1)出力	18363 F90773tu	7793 ダー 検索]			21156	
30	98	9a ADM		rok k d			4226	26274+	-
0	101	Npk_Lc		外気奏(系統機) 系統機	生 crav 間計算 disv 簡計算1.cav H.crav		4286	21946	
'n	119	11-名仟 0.4	Tdo.,w#Mpk.,	Lc¥project¥)	医自己cav	-1	4166	24199	
2	121	フォイル出力間	86 4.	246			4045	21057	
-	138	32.9	57.2	15862	3499	1510	4166	25046	-

図 6 - 9

図の例では "C:¥Tdc_w¥Mpk_lc¥project"に "室負荷.csv"というファイルができます。

すでに同名のファイルが存在する場合は、[上書き確認]メッセージが表示されますので、上書きする 場合は『OK』を、別ファイルとして保存する場合は『キャンセル』を選択した後、ファイル名称を変更 してください。

ファイル出力内容 室名称、室面積(m2)天井高(m)室容積(m3) 外気量室合計(m3/h)外気量(m3/h人)外気量(m3/h) 照明(W/m2)照明(kW)人員(人/m2)人員(人)機器SH(W)機器LH(W)

時刻、外気DB、外気RH(%) 室内負荷SH(+) 室内負荷SH(-) 室内負荷LH(+) 室内負荷LH(-) 外気負荷SH(+) 外気負荷SH(-) 外気負荷LH(+) 外気負荷LH(-) [室内+外気]TH(+) 最大負荷時刻、[室内+外気]TH(-) 最大負荷時刻、加湿量

7.系統負荷値表示

《表示内容》

[B1.計算結果の集計]で『7.系統集計負荷 表示』を選択すると、[7.系統集計負荷値表 示](図6-10)が表示されます。

70	モ連択			8示する期間-					
01.	zone-1			ロコントの金属	-				
<u><</u> .,	能集計	(前面表示)	单位(%	0					8/24
No	時別	外壳条件 DB	外完造件 RH	室内負荷 調約	国内自同 温熱	外究實育	外完員同 潜艇	国内+外完] 開約+満然	加速量
38	819	28.5	71.D	38429	7873			46302	
90	913	29.7	66.6	86817	31681	6969	92963	157420+	
0	1049	90.7	63.3	69779	19142	8639	33432	131192	
1	1100	31.6	59.5	72586	20567	10531	32493	136177	
2	12時	32,1	57.2	58223	12798	11472	31552	114045	
13	138	32.9	67.2	74679	21176	11848	32493	140196	_

26 - 10

・室内+外気負荷顕熱
 ・室内+外気負荷潜熱

・室内負荷顕熱
 ・室内負荷潜熱
 ・外気負荷顕熱
 ・外気負荷顕熱

《負荷値の取り扱い》

冷却負荷・・・・・ 冷却除湿が正とします 暖房負荷・・・・・ 加熱加湿が負とします

《グラフ表示》、《ファイル出力》の手順は6.室負荷値表示を参照してください。 ファイル出力では"系統集計.csv"というファイルができます。

ファイル出力内容 系統集計.csv 系統集計負荷値、系統名称

時刻、外気DB、外気RH(%) 室内負荷SH(+) 室内負荷SH(-) 室内負荷LH(+) 室内負荷LH(-) 外気負荷SH(+) 外気負荷SH(-) 外気負荷LH(+) 外気負荷LH(-) [室内+外気]TH(+) 最大負荷時刻、[室内+外気]TH(-) 最大負荷時刻、加湿量

8.系統内訳一覧表示

[B1.計算結果の集計]で『8.系統内訳表示』を選択すると、[8.系統内訳一覧表示] (図6-11)が表示されます。 [8.系統内訳一覧表示]では、ゾーンを構成する室負荷の内訳を表示します。

《表示負荷値について》

- ・ 室負荷は1室単位のピーク
- ・系統集計は系統に属する全室の負荷合計 のピーク

F.1	E選択 cate=1		****		(表示自己 · 案由初日	個について」 1 変単的のと					
2.3		100		11 10/m33		14 may			-125	-	
	and an against	ant-2	W I	1頁前	*	天白河	第四十 外来	in the second	Tett	1000	
Na	室名称/唐根/n20	慧	BBBO	全動	YOP3	全熱	全熱/単位負責	精研	(GA)	時刻	
1	801 £-2N.事预室	1	18363	21156	892	5118	26274/146.0	9			ł
	180.0	1	0	0	17	1	192		1		
¢.	002-8-21(会经常	1	38577	66209	1606	9213	64602/199.1	9			
	324.0		2					100			
8	1003 (NTE版書記	1	33637	42813	7591	28424	71237/98.9	14			
	720.0		1		1			1			
4	1		1		T	1		1			
	1		1		10	1		1			
6	1	1	1		12		12	10.0	1	1	
	Č.		1	ŭ –	T	Ű.		Ì			
		-		1	1	-		-	-	_	
	Column JCCAU	20	DUDI P	111400	4207	07766	TOTALO TENS		8.0		
		TAIL	81.15		automati Pa	Distant.	調整業業の合計であるの	+ 1			
- 5	2.8. 新聞業会演	·净蒜 加助	解於臺乃正之(加爾尔伯內)	ます ト	WIRESA IN	IN GRA	AND DOTE OF THE OF				
	Lanancia	- 246 (112		· · · ·			DESIGNE //HAR/JISH	HO			
							·根据建定7x11出力(T)	0			

図 6 - 11

《ファイル出力》の手順は6.室負荷値表示を参照してください。

『画面表示内容ファイル出力』では " 系統内訳 csv " というファイルが、 『機器選定ファイル出力 (SH、 TH)』では "FCU 計算 1.csv "、 『機器選定ファイル出力 (TH)』では " PAC 計算 1.csv "、 というファイ ルができます。

ファイル出力内容 系統内訳 csv 系統名称 室名称、面積、スペース数、室内負荷 SH(+)、室内負荷 SH(-)、室内負荷 LH(+)、 室内負荷 LH(-)、外気負荷 SH(+)、外気負荷 SH(-)、外気負荷 LH(+)、 外気負荷 LH(-)[室内+外気] TH(+)、最大時刻、[室内+外気] TH(-)、最大時刻、 加湿量、最大時刻

ファイル出力内容 FCU 計算 1.csv 系統名称 室名称、冷暖区分、室内負荷 SH、室内負荷 TH、外気負荷 SH、外気負荷 TH、全負荷 SH、 全負荷 TH

ファイル出力内容 PAC 計算 1.csv 系統名称 室名称、冷暖区分、室内負荷 TH、外気負荷 TH、全負荷 TH

9. 熱源集計負荷値表示

[B1.計算結果の集計]で『9.熱源集計負荷 表示』を選択すると、[9.熱源集計負荷値表 示](図6-12)が表示されます。

01:	8系統選出 特選系統	IR ;-1		8示する期間- 11:ビーク冷漠	•				
<. P	原業計画	「商産表示」	単位の	0					8724 Ta 28 kachu
No	時別	外完备件 DB	外完造件 RH	軍内負荷	国内自向 温热	外芸員商	外完負荷 潜艇	国内+外完] 開約+満秋	加速量
8	819	28.5	71.D	153716	31492			185208	
00	913	29.7	66.6	414422	166148	31048	147066	758684*	
10	1049	90.7	63.3	324800	92970	39436	149158	605764	
-	1100	31.6	59.5	399738	98352	46984	144968	629042	
2	1244	32,1	57.2	273656	62922	51182	140770	628530	
13	138	32.3	67.2	349858	101706	52860	144968	649392	

図 6 - 12

《表示内容》

- ・室内負荷顕熱
- ・室内負荷潜熱
- ・外気負荷顕熱
- ・外気負荷潜熱
- ・室内+外気負荷顕熱
- ・室内+外気負荷潜熱

《負荷値の取り扱い》

冷却負荷・・・・・ 冷却除湿が正とします 暖房負荷・・・・・ 加熱加湿が負とします

《グラフ表示》、《ファイル出力》の手順は6.室負荷値表示を参照してください。 ファイル出力では"熱源集計.csv"というファイルができます。

10. 熱源内訳一覧表示

[B1.計算結果の集計]で『10.熱源内訳表示』を選択すると、[10.熱源内訳一覧表示] (図6-13)が表示されます。

[10.系統内訳一覧表示]では、ゾーンを構成する室負荷の内訳を表示します。

《表示負荷値について]》

・系統負荷は1系統単位のピーク

・熱源集計はその系に属する全系統の負荷 合計のピーク

963 11:	東系統選択 熱調系統-1		*= 7 *	999 页	(表示負責) - 未結負責 - 熱源集計	樹たらして1 は1糸紙単位 はその系に見	のと ^に ケ 都する金系統の負荷合に	thttp://	>		
	第四日 一覧 ま示>	単位3 (Y~)	() 単位角市 軍()	#1100/1120 [1月前	3.86頁70137 外 1	系統單位。 8.各.简	「東田は金系統の金 第四・外系	H1_[1/8 tei®	-	
ka)*-)治特/面積(62)	¥.	HRM	全動	7075	全熱	全熱/単位負責	時期	66A	時刻	
1	201611 1224.0	2	86817	111498	9968	89922	157420/128.8	9			l
2	cone-2	1	242788	048574	17110	96270	443944./143.4	9			î
	3096.0						1	1			
1			Š.	1	10	1	1/2				
-	-				1	_		-		_	
1					-	-		-			
5				-	10	1		1	-	-	
		N	<u> </u>	Ý.	T	Í		Ì			
5	B3221 56440	8	414422	000070	31048	118114	756894,/136.8	9		-	
0	〇 米 (負担価の 注目負責) 収用負責	(現代) (市市 (加熱	秋心 転電が重わし 加層が負わし		NERANA (N NERANA) (N		國國新元內容7×14出 國國新元內容7×14出 國國第2×14出力公H	171 THO	<u>.</u>		
							· 根据建定7+14出力(T)	ю			

26 - 13

《グラフ表示》、《ファイル出力》の手順は6.室負荷値表示を参照してください。

『画面表示内容ファイル出力』では " 熱源内訳 csv " というファイルが、 『機器選定ファイル出力 (SH、 TH)』では " FCU 計算 2.csv "、 『機器選定ファイル出力 (TH)』では " PAC 計算 2.csv "、 というファイ ルができます。

ファイル出力内容 系統内訳 csv 系統名称 室名称、面積、スペース数、室内負荷 SH(+)、室内負荷 SH(-)、室内負荷 LH(+)、 室内負荷 LH(-)、外気負荷 SH(+)、外気負荷 SH(-)、外気負荷 LH(+)、 外気負荷 LH(-)、[室内+外気] TH(+)、最大時刻、[室内+外気] TH(-)、最大時刻、 加湿量、最大時刻

ファイル出力内容 FCU 計算 1.csv 熱源名称 系統名称、冷暖区分、室内負荷 SH、室内負荷 TH、外気負荷 SH、外気負荷 TH、全負荷 SH、 全負荷 TH

ファイル出力内容 PAC 計算1.csv

熱源名称

系統名称、冷暖区分、室内負荷TH、外気負荷TH、全負荷TH

11.印刷出力

[B1.計算結果の集計]で『11.印刷出力』 を選択すると、[11.印刷](図 6-14)が表示 されます。

《入力手順》

- ・印刷する項目内容と印刷の有無を設定し た後、印刷開始します
- ・印刷有りでも、印刷項目の設定が無けれ ば印刷無しとなります。

印刷有黑	台場項首日内容	範囲	印刷有業	印刷项目内容	10 M
•	1. 室象荷 →	1項目	F	6.室倉荷グラフ →	の項目
• []	2 系統期計算術 =	1288	<u>п</u>	7. 系統進計負荷グラフ →	Rem
= T	1 AdditaR →	日本語し	n [8. 熱原集計負荷グラフ 🖛	item
- T	4. 然源政计保持 →	1348			
εĒ	S. R. WARR	限定期。		WARFORD	



《印刷範囲の設定》

- ・印刷する室、系統をチェックします。
- ・印刷する月をチェックします。

		《遥振	5/Za>			
▼ <de-znl事務座< th=""><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></de-znl事務座<>						
□ K258-ZN 金麗室						
□ <20INTE_一般事務書	t					
D						
E						
Г						
E						KORNE
E.						主選択
						ок
п						中心也是
金负荷 印刷期間第回题	ke .					1
レビーな彩幕 日1日	〒4月	三 7月	匚 10月	H-794499	1103	
10 C 111100 1 121				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Concerned and and and and and and and and and an	
	〒 5月	[8月	E 11.8	-		

図 6 - 15



図 6 - 16

- 41 -

《表紙印刷》

以下の項目を入力します。

- ・会社名称
- ・サブタイトル
- ・日付

印刷開始で表紙を印刷します。

第7章 マスターデータメンテナンス

[起動メニュー]で『マスターデータメンテナンス』を選択すると[マスターデータメンテナンス](図7-1)が表示されます。



図 7 - 1

1.外壁・内壁データ

[マスターデータメンテナンス]で『1.外 壁・内壁データ』を選択すると[1.外壁・内 壁部材データ](図7-2)が表示されます。

- ・外壁の場合は室内の仕上げ材から外装仕上 げ材の順に入力
- ・内壁の場合は室内の仕上げ材から隣室の順 に入力
- ・床の場合は床仕上げ材から下階天井材の順 に入力
- ・天井の場合は天井仕上げ材から上階床材の 順に入力
- ・空気層 91、92 の場合は材料番号のみ入力します
- ・仕上げ材料途中に空白部分が有っても OK です

	他区分骤 外壁	19: 	入力部材増修 の1:W1_1: RC	t 150₹µ.%µ 💌	BRAGA W1_1:RC150EANA	828
ся	· (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	(第197~9 >				1/12
No		11114	10 A	単みlnn)	00	1
n	27] EA	ion .		20.0	B1]岩石(重量) B2]岩石(軽量)	100
2	[22] 書法	和2分一十		160.0	[19] 壬壤(栝王賀)	
3	[27] EA	131		20.0	051主場(ローム賞)	1
4				0.0	日7] 砂利	
6	1			0.0	[18] [19]	100
6	1			0.0	[20] Pet 1 Pet T / All Set	100
Π	<u> </u>			0.0	図道手切り	200
6				0.0	24] ALO(気泡コンクリート)	
0	-			0.0	[25] エンクリートフロッパ重量) [26] エンクリートフロッパ車量)	1
0				0.0	27] モルタル	*
1	1			0.0		
12	1			0.0		

図 7 - 2

2. 隣室温度差

[マスターデータメンテナンス]で『2.隣室 温度差』を選択すると[2.隣室温度差](図 7-3)が表示されます。

温度計算式

隣室温が自室温と等温の場合: a=0 隣室温が外気温と自室温との中間の場合: 0<a<100 隣室温が外気温と自室温との 中央値の場合: a=50 隣室温が外気温度と等しい場合: a=100 隣室温がt で一定の場合: a=200+t とします。

No	室用途为新	15950	500 Y 1.00	
11	中國下 一	50	a * 外気温度+0.00-a) * 白室温 1/100	-
12	片面下	75	a ≪ 外気温度+1100-a) ≪ 白室温)/100	-
13	個候室(外気)	100	外壳道度	
24		D	自主と等温	202
15		D	自室と等温	
06		D	自室と茶温	
07		0	自室と等温	
09		D	自憲と等温	
89		D	自室と等温	
10		0	自営と等温	
ā.	K 4+3481 K 443 K	→ 重ががかがが ががががが	m = 4 < 7 4 夏と等重の場合:1 ==0 高と音変活との中間の場合:0 <a<111 夏と音変活との中発信の場合:3 ==50 夏度と智しい場合:5 ==111 (一 年の場合:1 ==20041</a<111 	<u> </u>

図 7 - 3

新規作成時にここでの入力値が初期設定されます。

3.日スケジュール

9:00-11:00 100%

50%

12:00

[マスターデータメンテナンス]で『3.日ス ケジュール』を選択すると[3.日スケジュー ル](図7-4)が表示されます。

・人員、照明、機器のスケジュールを入力します。

5.5	3291/s+#	2	2		2		<u></u>		()	10-10	2	<u> </u>	0-0		1/68		
Mo	7月1/2-1	***	MEL	1001	MOY S	19954/	MOU	1951	MOV N	Mg1/	mer	1005	清清14	Giffence	中静心		
٩.		0	18	20	0	0		0	0	0	0	0	110	60 .	80		
	ana di	100	ED.	a	a	0		P	a	0	0		1				
8	人員1	0.	10	12	11	10	20	Þ	þ	0	0	Þ	110	10	00		
	1	60	100	90	110	80		p .	p	0	0						
0	(21년)	8	6	18	21	0		0	0	0	0	0	110	10	80		
	1000	80	600	100	b	0	N.	b	0	0	0		110000	1997	1		

図 7 - 4

13 の	:00-17:00 100% 場合の入力は				
	時刻1/比率1	時刻2/比率2	時刻3/比率3	時刻4/比率3	
	9	12	13	17	
	100	50	100		

新規作成時にここでの入力値が初期設定されます。

4.年スケジュール

[マスターデータメンテナンス]で『4.年ス ケジュール』を選択すると[4.年スケジュー ル](図7-5)が表示されます。

月によって、日スケジュールが異なる場合 は日スケジュールを使って年スケジュール を作成します。

新規作成時にここでの入力値が初期設定さ れます。



図 7 - 5

5. 運転条件

[マスターデータメンテナンス]で『5.運転 条件』を選択すると[3. 運転条件](図 7-6) が表示されます。

				12 181	电射输 子序的问题	汴國開始時間	予涉经7局間	極關閉始均量	子助终了
運転条件を入け	זו,≢ל					9	P	1	9
		· · · ·		14 18	现于管理条件	28 (B DEPG2	prigrittap	Page DBCC2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
新規作成時にこ	こでの入力	値が		14 121	観測和モードの)	0.0	DA DA	6.4	48
初期設定されま	= d					の収得条件	(2)局募条件	(2)联展条件	(四)中間)
				丙 车!	NUMBER-POP	271	6M	рл	10 11
デフォルト値は	t					(0))非原森件	(4) 決勝条件	(10)RMAH	(3) + mu
室使用開始	9時			#Det	2	入力的一個	a l		
使用終了	18時			30	\$45/85				
運怒了	18時						1.50.0		
冷房開始	9時						×	7 - 6	
予冷終了	9時								
暖房開始	8時								
予熱終了	9時								
中間期開始	9時								
冷房条件	26 50%)							
暖房条件	22 40%	1							
中間期条件	24 45%)							
年間条件	1月暖房	2月暖房	3月暖房	4 F	中間期	5月	中間期	6月	冷房
年間条件	7月冷房	8月冷房	9月冷房	10 F	目中間期	11 月	中間期	12月	暖房

の入下	E&件 力相目道te30種類0 1 事務型8h	ONEAN I TRA	s紀和入力 28h		0.04		
3	1413.14 >						1/5
Nô	入力項目	2,711	2,72	3,533	3,534	3,715	2,75
1	設計出力。重使用時間	除針出力	使用常能的雷	法用於了時幣	建成经济了时期		
		(2)印刷出力能引	P.	18	18		1
2	济细期给-予涉胜局盟	沐服開始時間	予治征了局關	極關閉始均量	子防修了时間	年間出力	中間期間後時間
		9	1	F	9	(2) 印刷压力都与	P
1	治·吸-中間相美许	(%赛DEPG)	(注意70030)	million (c)	標面10:00	中間時(18/0)	中間時10:00
		210	20	22.0	40	24.0	41
4	年間運転モードの)	18	2.8	p.H	48	5 .H	88
	E 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	(2)程展条件	(2) 局原条件	(2)採展条件	(1)中間順条件	(2)中間期条件	(1)消展条件
6	本間連転モードな〉	7月	6 <i>M</i>	9 /I	10 11	11.11	92M
		(1))))))))))))))))))))))))))))))))))))	(1)治療条件	(15)永原森件	-32+mmaan+	(3)中間期合件	(2)症疾会件

6.室内条件

[マスターデータメンテナンス]で『6.室内 条件』を選択すると[6.室内条件](図 7-7) が表示されます。

室内条件をまとめてタイプ別に室内設計条 件を作成します。

新規作成時にここでの入力値が初期設定されます。

く室	「案件>			1994 -	1/2
No	入力项目	3,511	入力2	3,739	入力4
11	運転条件の設定	運転条件指標		-	
		(01)事務室8h	and the second second	1	1
12	外族取入晶件	外氧量(w3.4h人)	外先量(43/h)	外贸3小	
		25	þ	COD THE MERL	
18	病明条件	295年小指標	病明器具型者	朝月月W/m(2)	<u>親</u> 唱@W?
		k01>M001	(2)半雄込み輩光灯	20	0.00
T I	人員条件	2092~#借槽	作業強度指数	(人)(K/m2)	人数(人)
		(02)人間1	(3)事務用業振艇い手行	0.20	a
5 報證品件1		2005	都具種類型番	間熱変動(M)	潜動業務(W)
		(03) 御間1	(2)中道督具 室道+30'0	100	10
16	梯器条件2	295-1-5-指標	務具種類型書	服 林発熱(M)	潜熱発熱(W)
		(04) 個務2	(2)中遺器具 室道+30'0	200	20

図 7 - 7

7.工事種類・建築構造名称

[マスターデータメンテナンス]で『7.工事 種類・構造名称』を選択すると[7.工事種 類・建築構造名称](図 7-8)が表示されま す。

工事種類・建築構造名称を入力します。 [B1.計算結果の集計 1.2 建築情報入力] で設定内容が表示されます。

No	丁本孫相	5争业加术基 计告诉承目
01	エザ1±×R 新築	SRC 鉄骨鉄筋
02	 改修	RC 鉄筋
)3	增築	
04		
05		
06		
07		
08		
09		
10		

図 7 - 8

8.建築材料

[マスターデータメンテナンス]で『8.建築 材料』を選択すると[8.材料データ](図 7-9)が表示されます。

材料名称、熱伝導率、熱容量の入力を行う と、MICRO-PEAK/2000 プログラムの MPDATA0.dat の内容を書き換え、これ以降 負荷計算においては書き換えたデータで 計算が行われます。

マスターデータ設定ボタンを押すと材料デー タは全て MICRO-PEAK/2000 のオリジナル データ MPDATA1.dat の内容に再設定されま す。

	-	7 marine marine		
No	材料名称	熱伝導率(04/mK)	Dign/L#量容频	
1	[1] 空気(静止)	0.02209	1.29767	
2	[2] 水 (静止)	0.60000	4177.67400	
3	[8] 氷	2.20000	1879.53500	
গ্ৰ	[4] 🖀	0.06047	180.00000	
6	[6] # 4	45,00000	3620.98000	
0	[6] アルミニウム	21 0.00000	2373.48800	
7	(7) សា	386.04650	3449.30200	
8	[8]	0.00000	0.00000	
9	(9)	0.00000	0.00000 0.00000	
0	[10]	0.00000		
ăl	R*(D)	注意事項	, >	

図 7 - 9

9.ガラス

[マスターデータメンテナンス]で『9.ガラ ス』を選択すると[9.ガラスデータ](図 7-10)が表示されます。

ガラス名称、SCR、SCC、熱貫流抵抗の入 力を行うと、MICRO-PEAK/2000 プログラム の MPDATA0.dat の内容を書き換え、これ以 降負荷計算においては書き換えたデータで計 算が行われます。

マスターデータ設定ボタンを押すとガラス データは全て MICRO-PEAK/2000 のオリジ ナルデータ MPDATA1.dat の内容に再設定さ れます。

	C AND MAL	19	1 man	1 000	10	linen.	and	10	1000	lan	「動育酒宴社	熱育法獲技
~	07/0 0 /1		- sun	au		ac-n	au		aun	au	0.7.5	872577121
	普通G Sna	1	99.0	0.01	St	0.27	0.27	61	0.25	0.41	0.155	0.1.98
	意通G Sea	2	0.95	0.02	22	0.27	0.27	62	0.24	D.39	0.157	0.201
0	普通3 5 6 1 1	3	0.93	0.03	23	0.27	0.26	63	0.24	0.19	0,159	0.202
a	普通Q Brin	4	98.0	0.04	84	0.26	0.26	64	0.24	0.58	0.142	0.206
05	普通G10mm	6	0.86	0.04	35	0.25	0.25	65	0.21	0.17	0.115	0.208

図 7 - 10

10.印刷

[マスターデータメンテナンス]で『11.印刷』を選択すると[11.印刷](図7-11)が表示されます。

《印刷手順》

- ・印刷する項目内容と印刷の有無を設定し た後、印刷開始します
- ・印刷有りでも、印刷項目の設定が無けれ ば印刷無しとなります。

瑞病紙	印刷项目内容	新田	印刷有無	印刷项目内容	範囲
F	1.外壁·内壁作-3⇒	Reizhou.	r 🗌	7. 工事種語·構造名称	
E	2. 防索羅退度		E _	8 建築材料	
F	2. E 27912-14		- <u> </u>	೩ ೫೨ス	
E 🔄	4.年2999年4				
E	5. MES/ 4				
E	6. 窗内設計条件				

図 7 - 11

第8章 システムユーティリィテイー.

[起動メニュー]で『システムユーティリティ ー』を選択すると、[システムユーティリティー] (図8-1)が表示されます。

特別の場合を除いて、変更する必要はありませ ん。

《ドライブ環境設定》 マスターデータが作動するドライブ及びフ ォルダを設定します。 《印刷環境設定》 印刷時のフォントと余白を設定します。

1.1.85	(三摩塘設定	(トライ)環境設定) フロクラムが年間がするドライフ及びフォルター を限定する。
2 ED.	腺療法定	
	展 5	
and a March	7649~ 餘定内容	
化 内容		
716 内容 112754	D:#Tde_w#Mpk_Fk2	
n化内容 112/54 5(Hデータ	DI¥Tde_y¥¥Mpk_Fk2 DI¥Tde_y¥¥Mpk_Fk2¥p	project

図 8 - 1

1.ドライブ環境設定

[システムユーティリティー]で『1.ドラ イブ環境設定』を選択すると[1.ドライブ 環境設定](図8-2)が表示されます。

 マスターデータをクリックすると、図 8-2 が表示されます。
 変更後のドライブ、フォルダを入力します。

12位, 内容	1+1-8-39定内定	
170754	D¥Tdc_w¥Mpk_Fk2	10(7) / 7+59一株本
2時時余 す	D#Tdc_w#Mpk_Fk2#project	100
1729-7-9	D¥Tdc_w4Mpk_Fk24Masdt	100
ERME		San Loc M San Mpk, Fk2
変更前	D#Tdc_w#Mpk_FkZ#Maod1	
李重 後 👘	DillTido willMok Fk2WMaadt	

図 8 - 2

2.印刷環境定

[B.システムユーティリティー]で『2. 印刷環境設定』を選択すると[2.印刷環境 設定](図8-3)が表示されます。

プログラムをセットアップ時に印刷環境は 自動的にセットされます。 変更したい場合はリストから選択します。 余白は数値を直接入力します。

FONT+BAT :	TRIMS PERMI		ОК
FONTサイズ:	85	×	<u> </u>
上余白 (職);	10		
左条白 (橋);	15		
余白(J) 5únn)(上日は18(mm)となります		

図 8 - 3